

水泳

水

68

日本水上競技聯盟機関雜誌

---

---

# 水泳

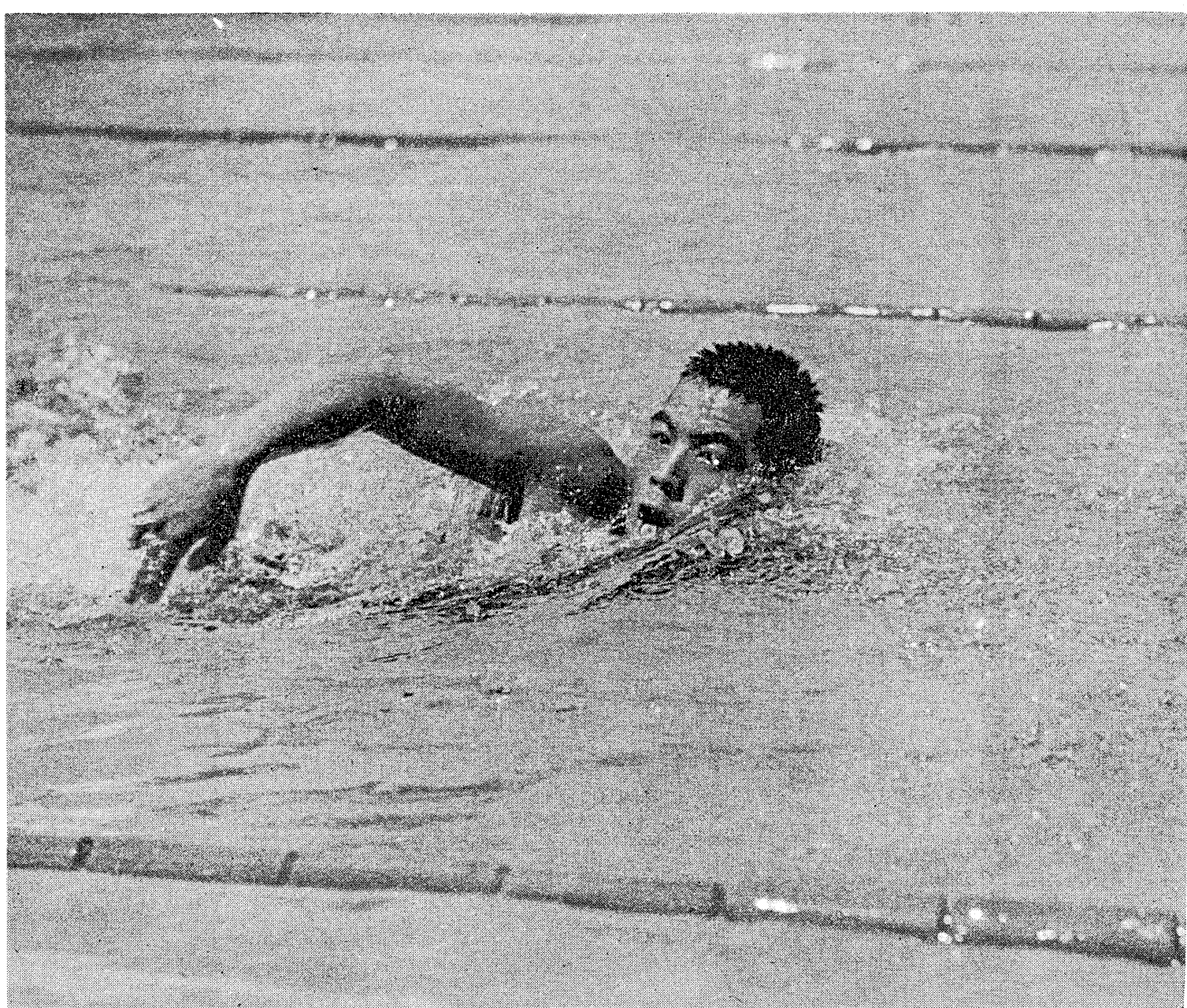
---

---

昭和十四年・第六十八號

## 目次

- くろがねの力……………( 2 )
- 本年度水泳界を顧みて……………田畑政治…( 3 )
- 十八回學生選手權水上競技總評……………帝大水泳部…( 9 )
- 數字から見たインターカレヂ競泳……………白山源三郎…( 17 )
- 日本選手權飛込競技大會……………高橋庄之助…( 20 )
- 卒業に際し優勝した感想……………柴原恒雄…( 8 )
- 十八回インターカレヂに優勝して……………葉室鐵夫…( 24 )
- 水球雑感……………川田稔…( 26 )
- 水泳プール用消毒劑としての  
硫酸銅に就いて……………朝倉靜生…( 28 )
- 海外情報一束……………小山賢之助…( 31 )
- 昭和十四年水泳指導者講習會大阪の部……………渡邊延…( 35 )
- ゴシツブ三題……………( 35 )
- クロール題名懸賞募集……………( 36 )
- 聯盟日誌……………( 36 )



## くろがねの力 ☆

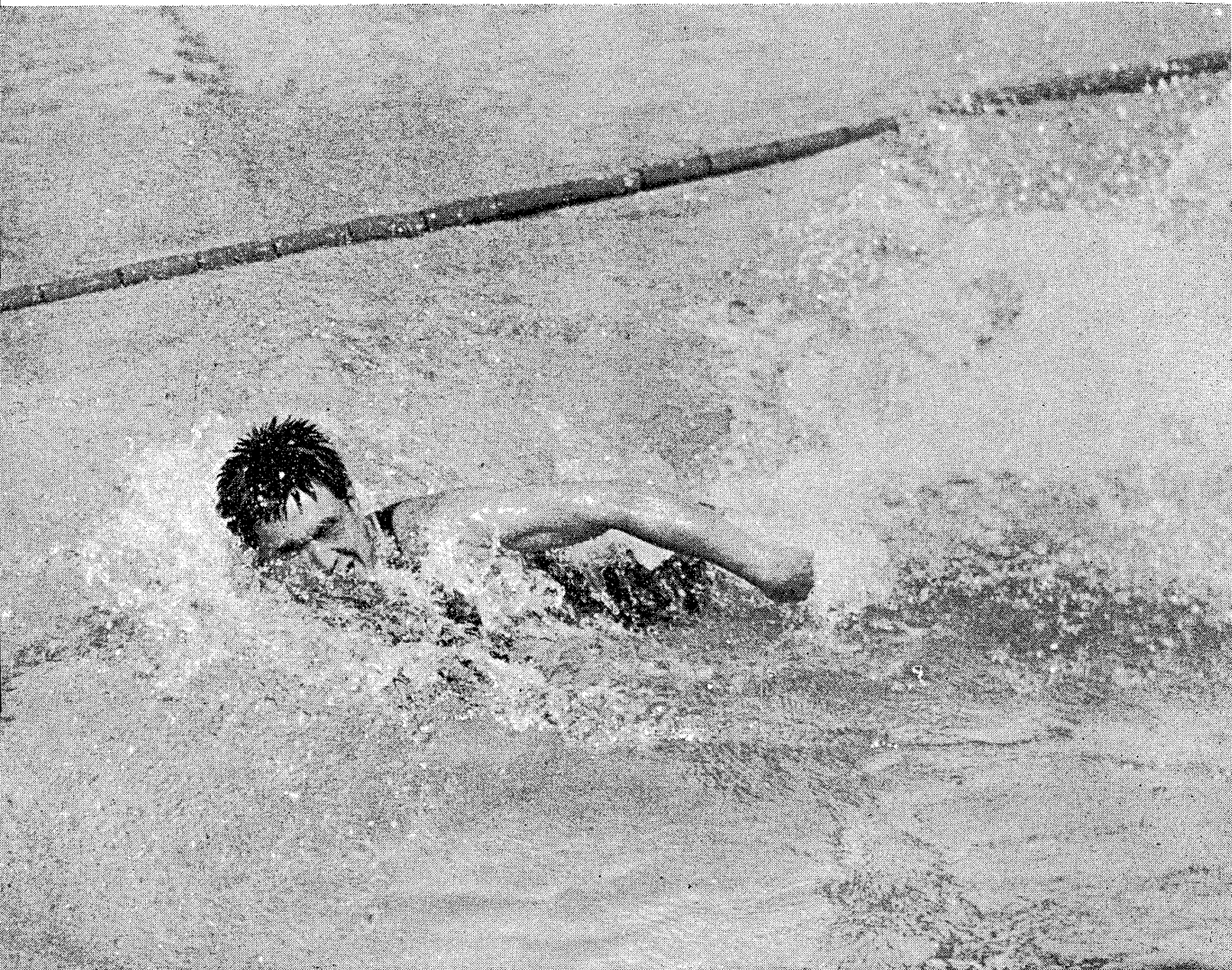
(日大天野君)

清新の血は朝日ともえて  
見よ、高らかに伸びゆく日本  
あゝ、我等、皇國の楯ぞ  
強き意志もて、ともに鍛へん  
力、力、くろがねの力

さみどりの地、櫻は映えて  
見よ、黒潮の輝く日本  
あゝ、我等溢るゝ健康  
うちて、をどりて磨き競はん  
力、力、くろがねの力

たくましき腕高張る胸に  
見よ、備あり、神國日本  
あゝ、我等無敵の誇  
若き肩あげ、ともに讃へん  
力、力、くろがねの力

[目次に戻る](#)



(立教新井君)

# 本年度水泳界を顧みて

日本水上競技聯盟理事長 田畑政治

## 依然として天下無敵

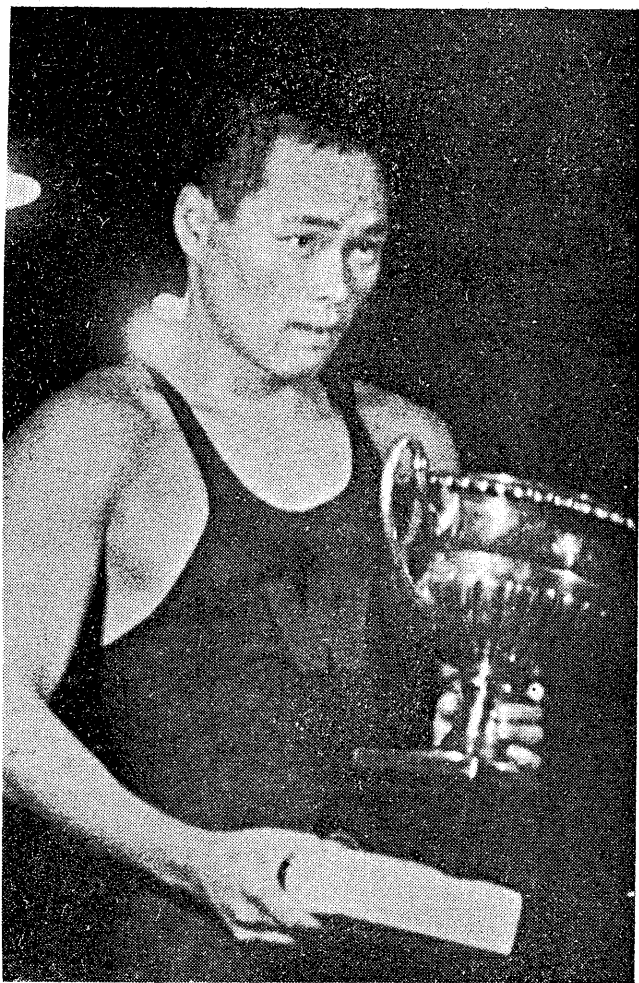
ヘルシンキ大會に参加して世界三連覇の偉業を完成することが國民精神の作興に寄與すると共に運動競技の普及發達に依る國民體位の向上に資する所以であるといふ信念で邁進して來た吾々にとつて最も目障りであり邪魔になつたのは日本オリンピック委員會たる大日本體育協會の無氣力、無方針の右顧左眈的態度であつた。今の體協に毅然たる態度を期待することが無理かも知れぬが、それにしても大切な時には決して物を言はず、口を開けば折角張り切つた氣分をぶちこわすのだから癪に障るといふより寧ろ馬鹿らしくなつてしまつた。こんな體協をいつ

までも相手にしては居られないので水上聯盟は獨自の見解で既定方針を強行して來たが、吾々の決意はよく選手諸君にも徹底したので體協の消極的態度に禍される所も比較的少く吾々の計畫は豫定通り成功して、世界に於て吾々に挑戦し得る者は獨逸の平泳、米國の背泳のみで(之も實戦に臨めば勝利の確信は充分ある)水上日本は依然として天下無敵の實力を保持することの出來たのは無上の喜びである。

日本の水泳は確に進歩してゐる、新井君の外は人無しといはれる百米でもデツドスタートといふことを考慮に入ればクウキツクスタートのベルリン當時に比して決して劣つてゐるとのみは云へない、ウキ

## 人心惑はず質的練習

然らば水上日本はベルリン當時から飛躍的發展を遂げてゐるかといへば然りとのみは答へ得ないことを遺憾とする。こゝ數年間の水泳日本の水準が極度に向上し、之がため世界的レベルをさへ上げたのであるからこの水準以上に頭角を現すことは非常な難事であるといふことは事實であるがそれにしても中等學校水泳界に高石、野田、磯部、田中、横山、大横田、片山(兼)、牧野、北村、宮崎、遊佐、新井、寺田、杉浦君等のやうな英雄的存在が無くなつたのは誠に淋しいことであり又關西インターカレッジが依然として最底レベルに低徊してゐることは遺憾の極みである。英雄の出現が水泳を普及せしめる結果となり、水泳の普及した結果英雄が生れるといふことは不動の事實であり、英雄の出現こそは水泳界に活氣を注入して量的にも質的にも一大飛躍をなすものであるからその出現は絶対に望ましいことである。この待望は如何にして實現するかといへば、それは量の練習と苦しい練習の結果であり、之以外には英雄の出現を期待することは全く不可能である。現在の中等學校水泳界にスターの出現しないのは決して素材に於て往時よりも底下したのではなく練習量の減退にあると斷ぜざるを得ないのである。所謂質的練習といふことをはき違へてか或は之を口實にしてか練習量の少いことが宛も有功適切な練習方法であるかの如き考へ方が地方水泳界を風靡してゐるが、この「質的練習」なる言葉程我が水泳界を毒するものはない。質的練習といふことに若し意味があるならば、それは「苦しい練習」といふことであり、如何に澤山泳いでも水に浮いて遊んでゐるのでは意味がない。練習の場合は魂を打ち込んで泳法にも意を用ひつゝ苦しい練習をしろといふことである。「頑張つてウント練習するといふ以外に躍進の秘訣はない。ロサンゼルス當時の中等學生級の選手の宮崎、北村、牧野、小池君等があの成功をしたのが當時のコーチの松澤君に特別の質的練習の秘法でもあつたと思ふなら、大きな買ひ被りであつて、宮崎、北村、牧野、小池君等は夫々自分の學校の監督に依る猛練習で鍛へ上げられオリムピック代表選手に選ばれた時には既に世界的選手としての實力を具へてゐたのである。ロサンゼルス、オリムピックの前年牧野君はインターミドルで八百米世界記録を作つて居り北村君は之と對抗の勝負をして居り又宮崎、小池兩



(早大宮本君)

ークポイントといはれた背泳も吉田君のカムバックと谷口君の躍進で、兒島君を加へた三銃士はロサンゼルス當時の清川、入江、河津君等の全盛時代を再現して、キープアー、バンデウエーの米國と對等の勝負は充分出来る確信は出來た。

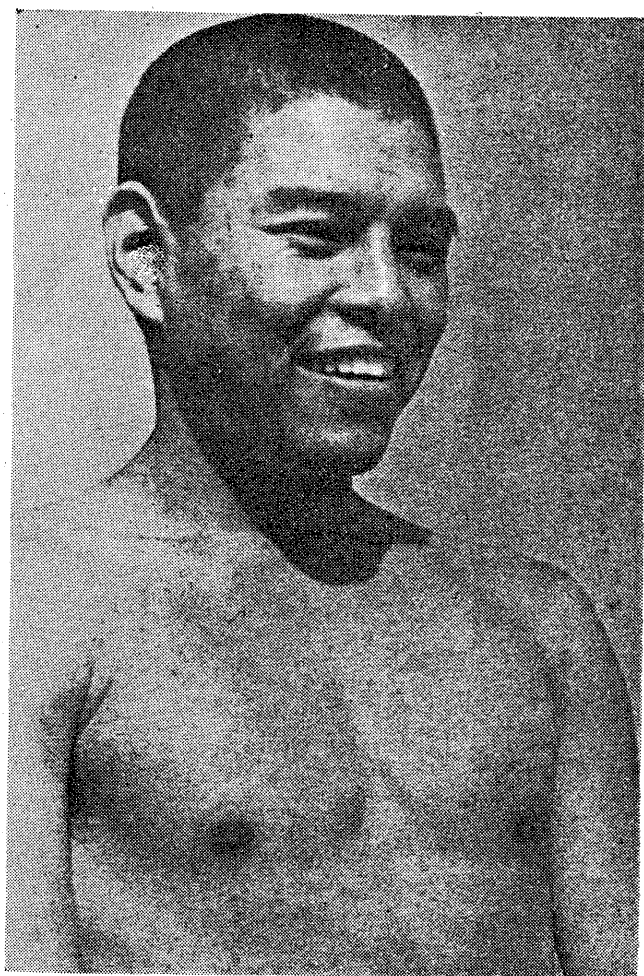
傳統の平泳では葉室君の實力は天下獨歩であり記録的に同位出来る獨のバルケも實戦に於て之を破ることは不可能である。小池君の卒業による穴は大浦、古川、野田君等で充分カバーできるし特にこの種目では中等學校生徒に俊鋭が雲集して居りこゝ當分は光輝ある傳統の王座は微動もしないであらう。四百米は高橋、宮本、田中君等で金城鐵壁であり千五百米は天野、本間、片山、宇田、越戸君等の強豪が徒らに國際的好敵手のないのを嘆ずるといふ強さである。八百米リレーに至つては新井、杉浦、鷺谷、津田君等の特別なメンバーを煩らわさづとも早大チーム單獨で米獨に充分對抗し得るであらう。確に水上日本は質的にも量的にも進歩して居り、天下無敵であることは世界水泳界の等しく認める處である。

君は當時のナンバーワン高石、鶴田君を敗つて居るといふ事實が之を説明してゐる。それがオリンピック代表選手に選ばれてからは、練習相手に優秀な選手を多數得て、其に勵み合つて眞剣な練習をして更に一段強みを増したといふに過ぎないのである。同じことはベルリン大會についても云へる。現在の短距離王新井君の今日あるのは決して立教に入學して齋藤君のコーチを受けその質的練習の結果で今日の大をなしたと見るならば異見も甚しいといふべきである。新井君の今日ある最大の原因は濱松農蠶學校に於ける猛練習にあると見るべきである。沼津から青年團選手として神宮競技に参加した新井君と濱松農蠶選手としてインターミドルに出場した新井君とは筋肉の柔軟性に於て又手足の強さに於て別人の觀があつたことは何人も認める所である。鶴藤君についても大體同様のことが云へると思ふ。齋藤君のコーチに依り世界的選手となつた根上君にしる、非常に苦しい猛練習をした結果であることは本人の語る所に依つても明かである。ベルリン大會の前の練習で日本選手が揃つて驚異的新記録を出したことも松澤齋藤兩コーチ特別の秘法があつた譯ではなく、選手が何れ劣らぬ強豪であつたため、ぼやぼやしてゐたのでは一種目に一國より三人迄といふ制限のあるオリンピックには出場も出来ないといふ心配から各自が猛烈な競争意識に燃へて、他に負けまいといふ緊張した練習が生んだ結果に外ならないのである。只オリンピックの代表選手に選ばれたものは既に充分の基礎練習を積んで一通り出来上つた選手であるので練習の目標が目前に控へたオリンピック大會に自分の實力を充分發揮するといふ一點にあるのだから今後一大飛躍を遂げやうといふ人達の練習に比べれば自ら異なる所があるといふことは地方選手は充分諒解して置く必要がある。オリンピック選手でも更に一段の進歩を期待される個人の練習は猛烈であり、一方現在の強みをそのまま競技會まで持ちこたへやうとする既成選手の練習は手控へされるといふことは當然起るのである。又オリンピックでは世界各國の選手が一つ場所集る點及練習場の不足から練習時間が非常に制限されるので餘儀なく練習を早く切り上げざるを得ないと云ふ結果になる。それを日本の地方選手が練習が少いから強くなるなどと思つたら大きな誤ちである。要するに量的練習を除いて質的練習はなく、質的練習といふことは頑張りの



(早大 吉田君)

練習といふ言葉の同然異語であることを、中等學校學生諸君及び關西インターカレッジ諸君は銘記すべきである。若し夫れ質的練習に籍口して安逸を食らうといふのなら論外であり、又何をか云はんやである。要するにインターミドル及び關西インターカレッジの低調は練習量の不足と頑張の練習欠除にあると斷言して誤りはない。特に中等學校生徒はオーバーワークなどといふことを氣にする必要は全然ない。練習は猛烈にやり、その代りによく寝るといふことを心掛ければオーバーワークなどではあり得ない。若しオーバーワーク的症狀がありとせば、それは練習量の過多より來るのではなく、睡眠不足や食物の好き嫌いの我儘から來る榮養の不足或は暴飲暴食等の不攝生の結果に過ぎない。いくら猛烈な練習をやつても、無茶に至らない程度によく食ひ、よく寝ればオーバーワーク等は中學生にはないといふことを斷言する。水上聯盟の指導者も徒らに地方の人々を迷はすやうな質的練習などといふ言葉は今後使はぬがよい。最小の勞力で最大の効果を擧げるといふやう



(立教大浦君)

な秘法は他の競技にはあるかどうか知れぬが少くも水泳には無い。

### 競技會を顧みる

シーズントップの早慶戦では最も大切な競技會前の一週間が悪天候に禍されたので、低調に終始するのではないかと危ぶまれたが早大は昨年の沈滞から脱却すると共に慶應も小池君の卒業、主將宮崎君將寺田の病氣欠場にも拘らず少しも闘志を失はず、堂々たる戦を進めたことは今更傳統の力の偉大なるを思はせて、對抗競技としての興味と感激をさせてくれた。之れに反し三大學對抗は早慶戦の一週間後で条件は上々であつたに拘らず、明大の凋落と新井君の不出場で對抗競技としての興奮を何處にも發見し得ず、低調に終始したのは頗る遺憾であつた。併しこの競技會に於ける葉室君の世界獨歩的存在と大浦君の躍進は早慶戦に於ける田中、高橋、兒島君の強みと相待つて世界三連覇は既に約束済みとなつた觀があつた。この二大競技會後甲子園で行れた早關戦並に日、立、明、關大の四大學對抗は對抗競技と

しては殆ど無價値といふ外なく徒らに關西勢の無氣力を慨嘆せしむるのみである。關西インターカレヂの非力は決して競技の素材の良否によるのではなく、練習に對する心構如何の問題である。こんな所に低徊してゐるのでは關西インターカレヂは中部インターミドルの世話役的存在以上に出ず、その本質的存在は失はれるであらう。

七月に入つて行はれた高專大會は對抗競技としてよりも個人競技として興味を惹き宮本君が四百米で四分四十七秒二といふ本年度最高記録樹立した外、鷺谷君の二百米二分十四秒四、吉田君の百米背泳一分九秒、四等記録的の收穫は頗る大きなものがあつた。然しインターカレヂとしてはこの記録的收穫のみに満足せず高等専門學校の對抗選手權大會といふ本來の目的を昂揚すべきであり、それには少くもインターカレヂの有力校なる慶應はその豫科並高等部を參加せしむべき義務を痛感すべきである。

關東予選會は待望の新井君が本年度の初出場をなし、百米に五十八秒〇、二百米に二分十秒、〇といふ本年度世界最高記録を出し、社會人となつた遊佐君が久し振りに登場して練習不足の身でデットスタートで一分零秒、四を出して此競技會の存在を明確にした。

インターミドルは東部は濱松一中、中部は伊都中學、西部は白杵中學が優勝し全日本中等選手權大會では伊都中學が他の二校に比して一寸段違の勝負をするものと豫想されたが濱一中が善戦して兩者の間に早慶戦その儘の熱戦が演ぜられ、結果は伊都中學の優勝に期したが濱松一中の闘志は賞讃する。この競技にバタフライを禁止百米を廢して四百米にしたことは豫期以上の成功をなし藤垣、田畑、吉村、堤小幡、加藤、鈴木君等が日本新記録を樹立して平泳第二陣の強化を實現したことは實に心強いものがある。インターミドルを見て感ずることは全般的に練習量の不足である。

### 日本選手權大會

日本選手權大會は本年度世界水泳界の最高峯を行く豪華版で世界三連覇の計畫はこゝに完成を見たといふのも過言ではない。この競技で最も感銘の深かつたのは四百米に於ける高橋、宮本、田中君等の爭覇戦であつた。メデイカさながらの高橋君が三百米まで絶好なペースで戦を進めたので勝敗はこゝで決し長水路世界記録の出現が期待されたが練習不足の

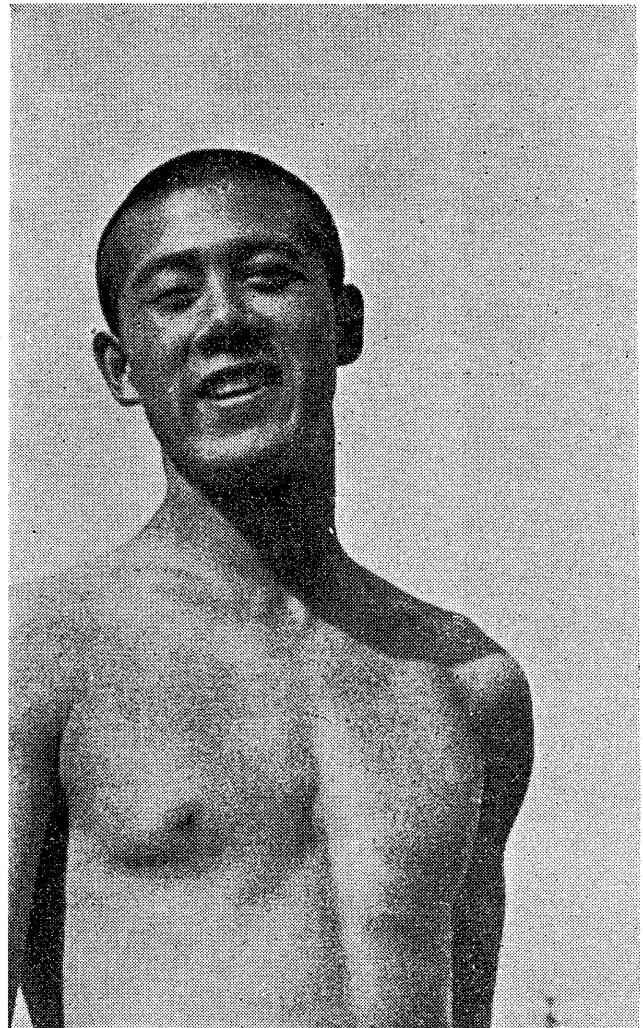
ため最後の五十米が浮いて之を逸したのみか優勝栄冠をさへ逸してしまつた。この経験が彼自身に益々基礎練習が必要であるといふ教訓となれば高橋君の失敗も無駄とはならない。百米背泳では短水路とはいふながら一分五秒といふ練習記録を持つ兒島君がその好調に眩惑されて新記録の樹立にあせつて吉田君の軍門に降つたのはベルリン大會の百米に於ける新井、遊佐、田口君等の惨敗と軌を同じくするもので之又一つの教訓たるを失はぬ吉田君はこの時に至つては既に昨年の吉田君に非ず背泳々者としての存在を確立した。百米、二百米は遊佐君の病氣缺場、佐々木、杉浦、鷺谷君の不振で新井君の本年度世界最高記録を除いては四百米の熱戦に比し著しく見劣がした。平泳では葉室君の強みもさることながら大浦、古川、野田君等の躍進頗る心強いものを感じた。この大會の結果、オリンピック代表選手並に候補者が決定し水上日本の陣容は既に世界水泳界を呑むの感があつた。

### インターカチ

早、日、慶、立の四大學の力量が接近したので近來にない興味を惹ひたが四百米豫選で立教の本間君が高橋、田中、天野君等と同一組に入り落選し、立教は早くも第一日に於て優勝圏外に去り、勝敗の鍵は第二日の劈頭行はれた四百米決勝にかけられたが早大の宮本、田中兩君は病後、慶應の高橋君は前半の出足が頗る遅く意外にも専門外の天野君に栄冠を横取りされ、日大の優勝を不動のものにした。宮本、田中、高橋君等は如何なる言ひわけがあるにしろこの三銃士がそろつて四百で天野君に優勝を奪はれたのは醜態の極といはれても一言もない所であらう。百米背泳に於ける吉田、兒島兩君の一騎打ちも四百米と共にこの競技會中で最も印象的のものであつた。



(慶大高橋君)



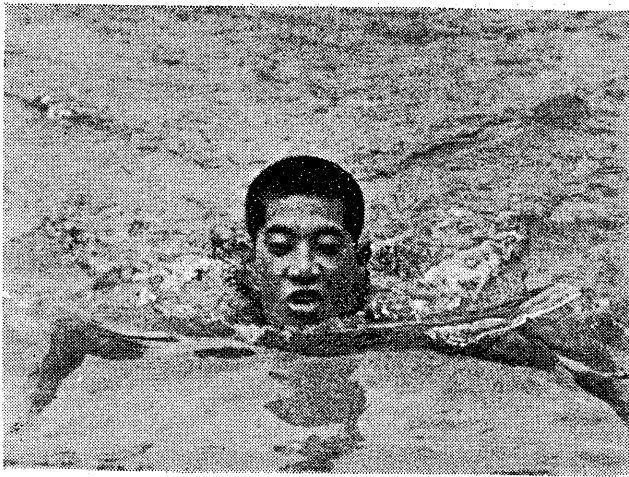
(慶大兒島君)

吉田君は兒島君の挑戦に何等憶する色なく闘志に燃へ、兒島君も吉田君の實力の悔り難きを知つて從來になく慎重に構へ、兩者の間に終始白熱的大接戦を展開しタッチの差で兒島君の復仇がなつたが之れにより兒島、吉田兩君世界的存在を確立したものである。兩雄の熱戦で見目は榮えなかつたが谷口君の平泳に於ける古川君と共に日本水泳界にとつて貴重な存在である。慶應の新人片山君の進境は著しいものがあつたが選手權大會で一躍存在を明確にした本間君が四百米豫選に敗れて以後全く闘志を失つてか霞んでしまつたのは如何にも物足りなかつた。新井君の百米五十七秒八はデットスタートだけに賞讃に値するものであり實質上、世界最高記録である。今年のインターカチは對抗競技會として近來にない立派なものであつたのみならず記録的に見ても堂々たるものであつた。

### 神宮競技

本年度の悼尾を飾る神宮競技は海軍、實業團青年





(日大葉室君)

團、男女中等學校、小學校教員等を網羅して日本水泳を總動員したものであり神宮競技としてはふさわしいものであつた。海軍實業團の躍進は目覺しいものがあつたが中等學校競技が練習不足のため低調であつたことは著しく目についた。來年からは、この競技會までは充分な練習を續くべきであり、その目標を與へる爲に來年度からは八百米か千米か、千五百米の新種目を加ふるつもりである。青年團競技はフラットレースを全廢したため反つて團體對抗としての氣魄低下したことは頗る遺憾である。青年團當

事者は種目の再検討をなすべきであり潜水運搬繼泳に至つては愚かも甚しいといふべきである。全般的に考慮すべき點が頗る多い。

### 力のやり場

現在の日本水泳は明かに世界無敵である、この實力を國際的にためす機會を與へるため來年は日米對抗を行ふか、或は全米選手權大會に遠征するかして兎も角、ヘルシンキ大會に代るべき國際競技會を催して水泳日本の實力を世界に問ひたいと思つてゐる。

次に女子競技は國際的水準には未だしの感が深いのが全般的には非常な進歩をとげて居ることは事實である、母性の體育向上といふ意味からも更に一段の向上普及を計りたいと考へてゐる。

水球は技術の向上には大いに努力して來てゐるが國際試合に恵まれないため飛躍的進歩のないのは止むを得ぬことである、この競技にも目標を與へることは必要である、飛込は男女共に國際的水準を突破して居り日本人は身體の恰好が悪いからといふやうな非難や云ひわけを全く克服してしまつたことは愉快なことでありこの競技についても來年度に於て男子競泳と共に對米を中心とする國際競技への出場を考へて見る積りでゐる。



## 卒業に際し主將として優勝した感想

日本大學水泳部 柴原恒雄

全國學生大會の直前に歐洲戰亂の爲にヘルシンキ大會が一時中止するの止むなき状態になつた事を耳にした私は、今迄只ひたすら、次回大會のみを目標に練習

して來た丈に何んとしても思ひ切る事が出来ない残念さで一杯だつた。日本の飛込が此の次回大會に於てこそ、世界の飛込界をアツと言はせる事が出来るのではないかと思ふと一層今でも残念で〜たまらない。ベルリン大會の様に、日本の飛込がどの位迄に行けるかと言ふのではなく、次回ヘルシンキ大會は、充分五角の技術を持つて行つて勝てるチャンスが有ると思ふと重ね〜残念でならない。又自分一個人としてもヘルシンキ大會には、どうしても勝つと言ふ野心を抱いてゐた期待の失望が、學生大會に優勝してもすぐに氣持をうれしさに完全に移す事が出来ず、然も學生生活の終りの大會であるにもか

はらず、少しも嬉しく感じなかつた。

只學校に對して其の責任の一端を果したに過ぎないと言つた感じです。試合は最初から勿論勝つ豫想でゐたし、何う間違つても勝てる事は必ず勝つと言ふ信念を持つてゐた。大會二日前に森が中耳炎で倒れた爲、思はぬ痛手では有りましたが、高濱、毛利二人の健闘によつて豫想通りに勝つた。森が健在で且、なほ自分が好調で有つたならば、得點の上に於てより以上の成績を挙げ得た事は、たかしと思ふ。

これから自分が學校を出て實社會に出たならば、果して充分なる練習が出来るか何うかは、解りませんが、しかし未だ自分自身が持つてゐる希望は決して捨てない積りでゐる、願れば、東京に出てから學生生活早や六年色々苦しかつた事、樂しかつた事などが思ひ出されて、只感慨無量です。最後に學生選手の皆様は國內で勝つてゐれば、それで良いと言ふ様な小さな考を捨て目標をもつと上へ持つて、なほ、一層の練習を積まれん事御願ひ申します。

# 第十八回日本學生選手權

## 水上競技大會總評

東京帝大水泳部

横尾 清吾、小出 義彦、大石 端  
圖師 忠、北村久壽雄、山藤 哲三

あらゆる意味に於ける「若さ」と云ふ事が本試合を評するに當つて不適當と云ふ事になるがそのため澤山の眼と角度を集中してその缺を補はんとしたが凝つては思案に及ばずの譬もある通り誠にさゝやかな獨りよがり陥つた様だ。是も試合の觀方の一つとして許して頂き度いと冒頭に希望する。

日本水泳界の頂上は強くて確實なもの、一團と強くて不確實な一團が犇めき合つて前者は後者の不安定乃至は未完成の一段上に立上らんとし後者は絶へず「自己満足の創痕」にかりたてられ乍ら不斷の努力を續けてゐる。さり乍ら仰ぎ見る水泳日本の高さ強さは之を全世界に對比する時何と云ふ毅然さであらう、この世界に冠たる高さこそ日本學生水上競技聯盟及日本水上競技聯盟の組織と頭腦と努力の偉大さを證して余りあらう又この誇りこそ全日本の水泳人が共通に持つ誇りでもあらう。

開會式に當つて末弘會長は本大會は水泳日本の進歩發展の原動力をなすものであるから特に全選手諸君の自重と努力を要望された。此の要望に答へる如く學生競技に於て特に要望され發揮される所の意氣と感激の爆發する所、對校戦としての又記録上の面白さと化し激戦接戦を繰返し繰返し日本新記録「本年度」世界最高記録の數々 15 も生み結局輝く優勝の榮冠は日大軍の手中に收められた。而して優勝を争つての大激戦は熱に誘ひ氣合に戦ひ選手又すべて母校のために挺身決死戦つた。技術の未だ互つて評價する迄もなく選手一同が平素習得しつゝあつた技術が精神と混和して歴史的な大戦を展開したのである。死力を盡して戦へばかくも貴重な記録は残されるものかくて本大會には尠からぬ刺戟と教訓が含まれてゐた事を見通してはなるまい。

豫選を了つて決勝出場者を數へる時早大 19、日大 18、立大 14、慶大 13 人である。この堅陣を突破

して優勝するものは何所であるか又運五分氣力五分の決勝試合の得點が如何にして争はれるか見通しの奥の暗闇が複雑怪奇の姿で興味をそゝる、わけても籤運に恵まれず 4 分 51 秒の大記録で豫選で落ちた立大本間の立場に限りなき同情が送られ更に近年水上競技界の華となつた第二日第一の 400 自由形の覇權の行方が優勝をかけてのレースである故に個人的に又學校別に投機的な興味がわき上り、更に水物の 50 自由形に於ける早大陣の無人が決勝レースの直前殊に印象深く感ぜられた。

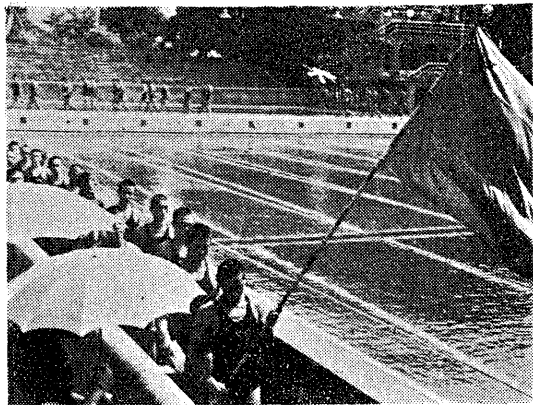
### 800 米リレー決勝

- 1) 早大(宮本、吉田、田中、杉浦) 9:02.2(大會新)
- 2) 立大(新井、本間、本田、鶴藤) 9:06.2
- 3) 日大(鷺谷、佐々木、天野、越戸)9:08.0
- 4) 慶大(島本、高橋、片山、寺田) 9:16.4
- 5) 明大(豊島、安達、河野、後藤) 9:50.0
- 6) 關學大(虎野、三谷、平野、田村)10:01.8

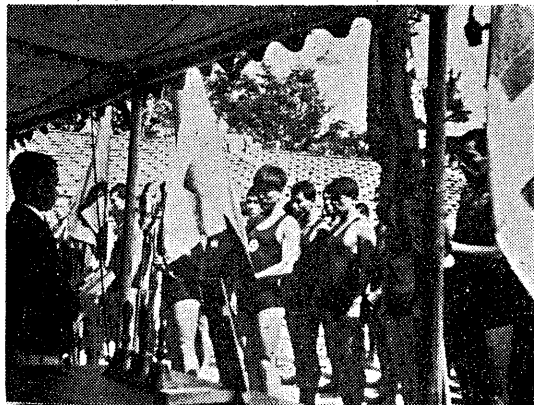
立大の第一泳者新井は 2 分 10 秒 8 で他をリード早大は吉田が差をつめ殊に三番の田中の奮闘は逆に立大をリードし杉浦はその差を確保して堂々と快勝、日大は漸次立大に詰寄つたが鶴藤よく頑張り猛追を寄付けず快勝、早、立、日の三校は豫想された様に激戦を展開してゴールに入る迄手に汗を握らせた、慶大は寺田の病後回復未だ完からず上記三校におくれたがタイムから見ても分る通り四校陣容の充實振りは明日の豫想を困難ならしめてゐる。

### 400 米自由形決勝

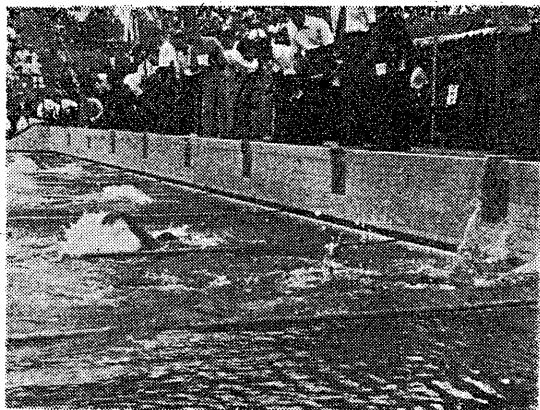
- 1) 天野富勝(日大) 4:48.0  
(300 米正式計 3:34.0)
- 2) 高橋 弘(慶大) 4:48.2
- 3) 宮本 茂(早大) 4:51.0
- 4) 鷺谷光明(日大) 4:53.0
- 5) 片山 崇(慶大) 4:55.8



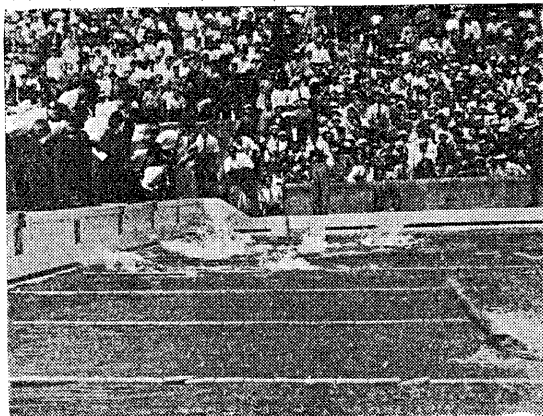
入場式  
前年度優勝校慶大を先頭に



開會式  
末弘會長の挨拶



五〇米背泳決勝  
(慶大) 兒島泰彦(二〇秒・六)



百米背泳決勝ゴール  
(慶大) 吉田喜一(一分八秒・二)

### 6) 田中英作(早大) 4:56.2

二百迄宮本 1 分 6 秒 2 分 19 秒 でリードを續けた、鷺谷はよく宮本に喰らひつき天野、田中四人雁行、高橋は後半に入つてじりじりと詰める 300 では先づ天野 3 分 34 秒でターン續いて宮本、高橋がターン鷺谷、田中之に續く 350 では四コース宮本、六コース天野、8 コース高橋が同時にターンし 5 の鷺谷と 9 の田中が僅かにおくられて満場騒然、宮本や、つかれ急ピッチの天野とラストになつて増々強い高橋の二人が大接戦を繰返したが天野タッチの差で快勝、5 等片山は後半強く遂に田中を破る。

**天野君に就て**——試合上手になつたし落付きもできた、ロングの選手だから喰らひついてラストで抜く所常法乍ら宮本を抜き高橋をピッチで破つた所等賞すべきだ 48 秒は彼としては本望に近い記録じやなからうかそれにしてもこのトップレースに勝つた事は彼によつて上げられた最大の殊勳だ。

**宮本君に就て**——若いと云ふ事は本人は不服かも知れんが批判の多いだけに期待もそれだけ多いのだから眼をつぶつて聞いて貰はう。宮本にとつて一番大切な事は記録的問題ではなく敵に勝つ事にあると思ふ。彼は唯敵に勝つ事に専心すればいい記録は獨りでについてくるのだ。練習記録の優秀さは強い事の裏書になるから競泳は多人數の中に互して力と力を競ふものであるから第一に必要なのは繰返す様だが敵に勝つ事にあると思ふ。350 すぎてから彼としては追ひかけられた試合で實につらかつた事と思はれたが見る人々もつらかつた。外に試合下手とか上つたとか批評もあらうが兎に角あらゆる経験は之を生かす限りに於て悪からうはずがない。殊に 400 レースの選手として誕生中の宮本は中途半端の成功失敗より大きく勝つか大きく負けるか根本的なものから錬り上げて行くべきだ、君への期待は大きい。

### 高橋君に就て

泳ぎとしては一番上手じやないかと思ふが前半のペースに一捻り工夫が愆しい。そのため後半になつて増々強く詰め寄つたラストがやゝ出おくれた感が深い。天野に力で勝つてピッチで敗れたと評すべきか、然し 400 の代表的泳者として高橋君と宮本君をあげるに躊躇しない。長距離から固めた高橋と短距離から固めた宮本に就て高橋にやゝ分がありとしても兩者の間に差を見つける事は難かしい、考へるに 400 レースは長距離短距離の交流點である故に練習

並びに試合二つ共競泳種目中最も困難なものと思はれる。此處に四百専門の泳者と云つたが四百そのものが長距離すぎず短距離すぎずさりとして長短兩者の判然たる轉回點でもない。長短兩要素の合流して渦をまく所長距離に於ける短距離的要素を要求し或は短距離に於ける長距離的要素を要求してペース、力の分配、練習並びに試合の難しさが渾沌として正體不明の四百である。唯間接的に云つて四百泳者の大部分が長距離畑の人である事である。牧野さんは長距離畑から四百をうかがつて大記録を樹立し、又日本記録保持者である根上さんも長距離の餘力のかつての事であり外ベルリンで41秒臺の驚異的練習記録を樹立した鶴藤君にしても又石原田さんにしても長距離畑から四百をうかがつた人である、外人の場合もお馴染のメヂカ君もその例である。短距離即ち二百から四百をうかがつた人としては超掣級の高石さんより横山、大横田さんからその例は長距離畑に比して淋しい、外人の場合もロスアンゼルスの大會で優勝したクラブ等あるが凡んど大抵の場合に八百乃至は千五百の方に活躍してゐる選手が多くて四百専門は殆どないと云つても過言ではない。此の例で最も面白いのは昨年夏の大阪での選手權大會を思出す。長距離の天野と短距離の新井がしのぎを削つて結局新井が勝つたが此の時程四百陣が荒された事はあるまい。ポーランドみたいに長距離陣營から喰ひ荒されてしまつて悲惨な姿であつた。かく長距離陣からはおびやかされた短距離陣からは攪亂された四百陣は之を護るに個性の強い専門家を要求し乍ら完成の難しさと未完成乃至は偽造の容易さが一は専門家の不足となり一は長短泳者の内職職場として二百陣より或は千五百陣より職務管掌を受けてゐるのである。

高橋は長距離畑に屬し宮本は短距離畑に屬してゐるがその努力と野心の焦點が四百にありと解釋するのは誤りであらうか？今此處に四百泳者の専門家として典型的な二人をえた事は嬉しい限りである。今の所二人共ペースの研究が第一に必要と思はれその完成の上は待望の45秒が確實にきれるであらう。牧野根上さんメヂカ君の技術的巧妙さに一步をおくとしても半完成のものであるが故に期待が大きい、も而二人共眞面目な練習熱心の人であるから難關征服と固守に希望の集るのは偶然ではあるまい。

話は前に戻つて四等の鷲谷の善戦振りも見事だつ

た。天野と共に稼いだ十點は大きい、五等の片山も後半の力闘が目立つ、六等の田中は病後の成績としては止むをえないが宮本と共に最悪の状態で戦つたと稱してよからう。決勝記録から見ても立大本間の落選が今更乍ら惜まれてならない。

### 100 米自由形決勝

- 1) 新井 茂雄(立大) 57.8
- 2) 佐々木 猛(日大) 59.6
- 3) 杉浦 重雄(早大) 1:01.8
- 4) 大崎 定兼(立大) 1:02.0
- 5) 高尾 龍實(慶大) 1:02.0
- 6) 杉田 芳郎(早大) 1:02.6

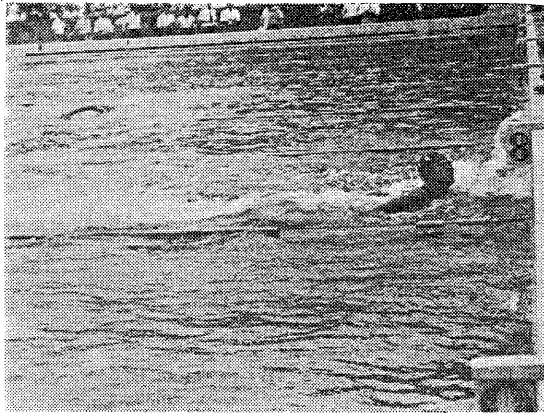
新井は前半を27秒で入る、高尾前半よく出たが佐々木漸次詰め返し杉浦と大崎は一進一退の接戦を繰返したがタッチで杉浦勝つ。

新井の記録は堂々たる記録であり乍ら實力の最小限度で泳いでる様な氣がする。前半26秒臺で入つて貰ひ度い。呼吸する時右肩が落ちすぎる様に見受けられたが。杉浦と大崎の善戦は見事、佐々木も1分を切つたがペースがまちまちの様だ、一般的に云へば前半をも少し飛ばしていい様な氣がする。それとスタート及びターンが少々拙い。デツドスタートは張り切つた氣持を落す様な氣がしてならないが、0秒臺がゐない、新井佐々木の次に大きい穴があいてる様で淋しい。宮崎、遊佐さんの軽快なフォームも見られず四百でも泳ぐ様にぎこちない力の泳ぎである。ペースも悪いし、悪く云へば僥倖をねらつた様な試合の仕方である。宮崎、遊佐の形の泳ぎから力の泳ぎに變つてゐるが短距離陣の充實のためには形と力の混合時代を作らない限り希望はもてぬと思はれる、一般に本レースが一番低調だつた。

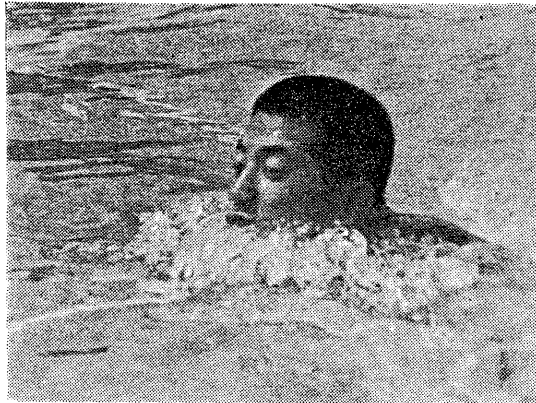
### 100 米平泳決勝

- 1) 葉室 鐵夫(日大) 1:12.8  
(日新) ラップ 34.2 (日新)
- 2) 古川 敏(早大) 1:15.2
- 3) 長久 俊三(慶大) 1:16.0
- 4) 大林 嗣生(早大) 1:16.4 ラップ 34.2 (日新)
- 5) 大浦誠一郎(立大) 1:17.0
- 6) 吉田 三郎(早大) 1:19.2

バタフライの大林は葉室に對抗して50では共に34秒2の日本新記録を作る。尤も第一日豫選B組で葉室が作つた33秒8と1分12秒4の日本新記録には及ばなかつたが。後半古川出、長久又つ



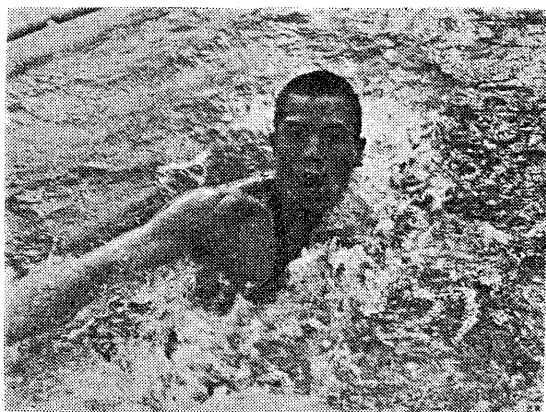
二百米自由形、決勝ゴール  
(立大) 新井茂雄 二分十秒六



百米平泳優勝  
(日大) 葉室鐵雄 一分十二秒八



四百米自由形途中  
(早大) 田中英作



八百米自由形決勝  
(日大) 天野富勝 十分一秒六  
(本年度最高記録)

め大浦又スプリントを利かして大林に迫つたが及ばなかつた。

50 平泳の日本新記録を樹立した葉室大林兩君の殊勳はさる事乍ら第一日の試合の第二回目慧眼細心よく葉室の日本記録を掘出した功勞者として計時主任の小山賢之助氏のかくれたる努力を顯彰したい。大會入場式の余韻がまだ試合場を占めて落ちつかないヘキ頭先づ本記録の発見で何かしら活氣が漲り試合氣分一入であつた。此の時の葉室のスタートの好さが眼に残る。豫選で眼に残つたのは立大の上山君がよく盛返した事だつた。決勝では大林の果敢でさあつた。

百平にしる二百平にしる葉室を破らんと思へば思ひ切つて飛ばす果敢さも必要だ、大浦にもその例を見たが舊套になじまぬ所が好い、古川の善戦は氣持がよかつた、悠々とあせらず後半よく頑張つた所等老巧と稱してもいい。早大山田の負傷缺場が惜まれる所。

#### 200 米平泳決勝

- 1) 葉室 鐵夫(日大) 2:42.6 (大會新)
- 2) 大浦誠一郎(立大) 2:47.0
- 3) 古川 敏(早大) 2:47.6
- 4) 野田 務(明大) 2:48.2
- 5) 長久 俊三(慶大) 2:51.0
- 6) 寺田 武實(早大) 2:55.2

葉室五十を 36 秒百を 1 分 17 秒で入る 20 秒前後で長久、古川、三輪、寺田、大浦、野田と續く後半に至り古川、大浦、野田出て競合ひ葉室よくラストを利かしたが待望の 40 秒を切らず大會記録を樹立して優勝。5m おくれた古川と大浦は最後迄競り大浦僅かに出て快勝、野田之に續く。

第一豫選で 2 分 55 秒 2 の好記録を出した明大山口の棄權は惜まれる。豫選 C 組寺田のリードを追ひかけた葉室の一戦觀衆の拍手裡に興業價値をそいつたが此の勝負は寺田に勝たせたかつた。野田と大浦は百より二百の方が成績よく殊に古川の飛躍の跡は刮目するに價すべく山田主將の負傷の跡を補つた早大平泳陣の活躍は激賞すべし。一まはり小さい古川の身體の何處に闘志と力がひそんでゐるか昨年入學以來僅かに二年にして早大平泳陣をかく迄充實した所名は葉室の裏にかくれ乍らも地味にして熱心なる點激賞に價すべく、今以上の熱と意氣を以て大望を貫き殊に身體つきの非利を悟らば慢心は最大の敵

なりと考へ颯爽風を切つて進んで貰ひ度い。

一般に平泳陣は鶴田さんを追かけた小池さん、更に之を追つた葉室君を中心にして即ち「この野郎」と思はせ刺戟の目標となる双葉山的の存在のため連続として充實してゐる。來年は葉室、長久、野田の三君を送るが後に大浦あり古川あつて心強い限りである。待望の 40 秒は遂に切れなかつたが常に日本平泳界の第一線を確實に固守してベルリン大會では全世界の選手權を握り、立つては日大軍の名主將として待望の優勝を成就した葉室君の大選手たるの所以は試合度胸にあり、又試合前病氣して調子を最悪の状態におく事なく常に最善の状態で試合に望む所にあるのであると思ふ。但し試合終了後の態度に就き色々説をきくがあれはクーリングダランと解釋する。

### 50 米背泳決勝

- 1) 兒島 泰彦(慶大) 30.6 (日本新)(大會新)
- 2) 吉田 喜一(早大) 31.4
- 3) 谷口 利弘(日大) 31.4
- 4) 河野 道廣(日大) 31.8
- 5) 平賀 孟(立大) 32.6
- 9) 中野 太郎(早大) 32.6

兒島の二新記録は昭和八年商大清川さんの作つた記録 30 秒 8 を共に破つたものである。又堅陣を突破した平賀と新人中野の奮闘はよし。

### 100 米背泳決勝

- 1) 兒島 泰彦(慶大) 1:08.2 (大會新)
- 2) 吉田 喜一(早大) 1:08.2 (大會新)
- 3) 谷口 利弘(日大) 1:09.0
- 4) 河野 道廣(日大) 1:11.0
- 5) 坂本 响一(立大) 1:12.2
- 5) 平賀 孟(立大) 1:12.6

最初平賀、兒島、吉田よく出五十を 32 秒 6 で入る平賀よく喰ひついたが後半つかれ 75 米邊りでは兒島や、リード吉田はずつと盛返して僅かに勝つてラスト 5 米で兒島追ひ頭が並び吉田や、優勢裡に激戦展開、吉田ゴールタッチに氣をとられる瞬間の差の中に兒島ゴール續いて吉田タッチ、谷口と河野は後半強く殊に谷口はぐんぐん吉田、兒島を追かけたが及ばなかつた。

吉田が終始先手で押寄せた所、從來の戦法を積極的に變へ、兒島の戦法と逆になつた吉田の強氣は彼

の研究と努力の跡と見るべく滿々と自信を取返した所等激賞すべし。兒島は逆にリードとられてラストで追込んで番狂はせの感がしたが之は兒島の作戦とは思はれない吉田の力闘の前にかくなつたと見る。フォームに就ても吉田は大きすぎて殊に右手に研究の餘地がある様だ、兒島は洗煉されてゐるターンとかゴールタッチとか細かい點の研究がよく積んでゐる、7 秒臺の自信がありさうで結局出なかつたが試合の性質が記録より勝つべき試合であつたから忿は云へない。

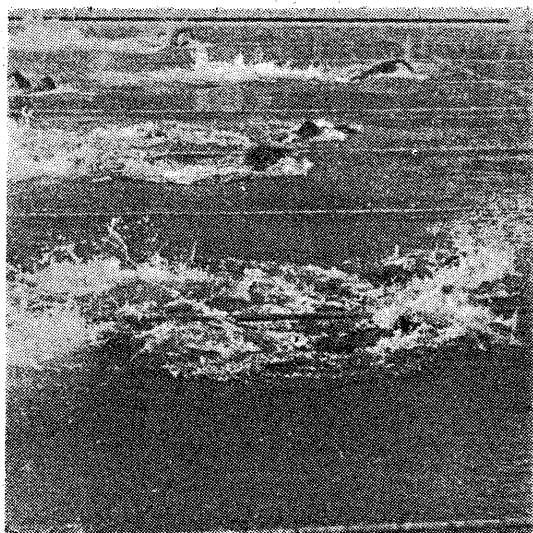
谷口と河野の擡頭と確實な戦績は日大優勝の素因として賞すべきだ。殊に谷口が兒島、吉田と並んで日本背泳のトリオを形成してゐる所等、平泳に於ける古川と對稱される。坂本は病氣恢復が全からずして本年の戦績は悪かつたがくさらず來年を待つ事にしよう、恵まれた偉材に磨きをかけられる事を祈る。平賀は五十と百に善戦した。

### 800 米自由形決勝

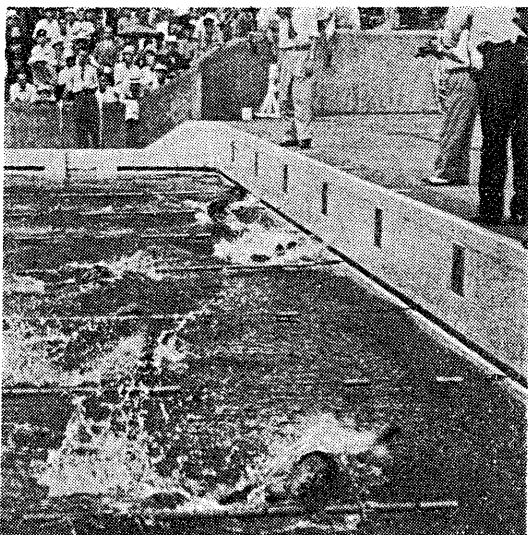
- 1) 天野 富勝(日大) 10:01.6 ラップ
- 2) 高橋 弘(慶大) 10:10.6 1:06.8(本間)  
2:36.6( " )
- 3) 片山 崇(慶大) 10:12.0 3:39.4(天野)
- 4) 田中 英作(早大) 10:17.4 4:55.2( " )  
6:12.4( " )
- 5) 本間 俊夫(立大) 10:18.8 7:28.6( " )
- 6) 宇田 守榮(早大) 10:26.2 8:45.8( " )

最初本間出て天野之に續きやゝおくれて高橋、三百すぎて天野トップになり高橋、本間續き田中も漸く出始める。四百すぎて片山よく出、五百では天野増々強く本間は尙好調、特に二コースを泳ぐ片山の強さが漸く目立つて高橋に喰ひついて 6 分 19 秒で泳ぐ六百をすぎ天野に約 8 米おくれて片山第二位を泳ぐ高橋、本間之に續く。七百で天野は二位を十米離し片山の力闘啞然たる裡に高橋を一米離して第二位を元氣一杯に泳ぐ、高橋に三米おくれ本間泳ぎそれに三米おくれて田中泳ぐ。750 で片山と高橋は同時にターン、同じ慶應ながら片山の奮闘目覺しく興味油然たる中にラストに強い高橋、流石に強剛振をみせて片山に辛勝、田中もよく頑張り本間を抜き、九コースの栗原は一コースの宇田を懸命に追つたが僅かに及ばず等外となる。

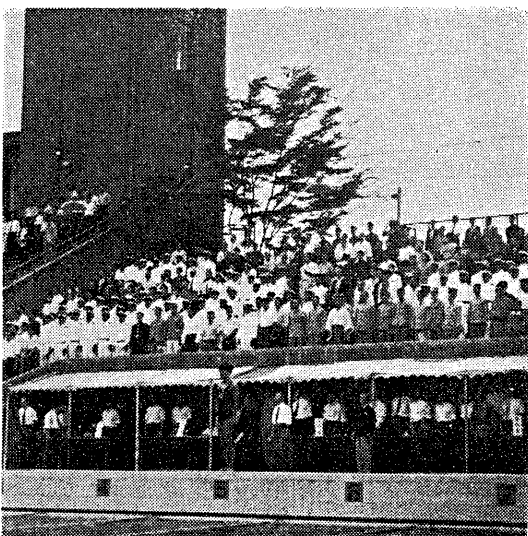
天野は四百優勝の快調に乗つて文字通り危氣なく制勝す。昨年に比して経験も積んだ故かよく落付いて老巧となり、殺氣を含んだ昨年の猛進的泳法に精細のふるゐがかゝつて頼母しい限りであつた。願は



二百米決勝途中 八十米  
島本 (K) 新井 (R) 宮本 (W) の順



百米背泳に於ける五〇米ターニング



百米自由形優勝儀禮式  
優勝者 (立大) 新井 茂雄

くば今以上の研究と努力を加へて以て大きくは日本水上界小さくは葉室君を送り出した日大軍の中堅となつて精進されたいと思ふ。慾を云へば四百ラツプ 55 秒はおそいと思はれるがそれにしても本年度世界最高記録樹立の功は少しも割引されない。

高橋は四百で惜敗したが八百では善戦したと思はれる、後半片山から追ひかけられて精神的な壓迫を受けたがラストの凄味は流石と感ぜられた。ピツチも輕快だつたがブライドの手を搔きすぎてやゝ上らぬ様に見受けなれたが、寺田に比し少しおとると思はれるが泳ぎぶりは最も優秀だつた。

八百で一番激賞すべきは片山の熱戦であつた。四百でその片鱗を見せたが八百での善戦は豫想外と云ふべく、後半からぐんぐと伸上つて來た所等意氣と感激の爆發とも稱すべく本間を抜き高橋を抜いて天野に迫らんとした心にくい迄の奮闘は本大會隨一の大收穫であつた。死力を盡して戦へばかくも貴重な一戦が展開される。技術の未だ走る前に彼の優秀なる精神力に讃辭を呈し度い。慾を云へば前半のペースに一研究を望み度い。本試合の經驗を生かし強氣に強氣にゆかれない。

田中は病後の事とて早慶戦當時の力と輕快さが見られなかつたが病氣にかららぬと云ふ事も練習の一である事を田中君の例を通じて全部の人に強調する唯ラストで本間を抜いた所は見逃すべきではない。

本間は前半やゝ飛出しすぎたが充實しきつた長距離の中にあつてこれだけ善戦した事は見事と稱すべく殊に四百豫選の不運の敗退に屈せずやり通した所は認めなくてはなるまい。

宇田は弱氣だ、古川、大林の同僚の意氣と片山の精神力と力闘の跡をよくよく翫味して來シーズンの奮闘を期待する事にする。然し長距離の方から自己を完成して行つてゐる事は賢明だと考へられ、宮本君と同じくあらゆる經驗が同君を強くしてゆくであらう。とにかく強氣で行つて貰ひ度い。

### 50 米自由形決勝

- 1) 宮崎 康二(慶大) 26.6
- 2) 佐々木 猛(日大) 27.0
- 3) 大崎 定兼(立大) 27.4
- 4) 本田 武次(立大) 27.4
- 5) 高尾 龍實(慶大) 27.4
- 6) 柴原 恒雄(日大) 27.6

久し振りを見る宮崎の水煙り、よく利いた足の猛

烈な水煙を評するに「宮崎の様だ」とはよく聞いたものだが佐々木と競合つた足の強さが目立つた。優勝表彰式にスタート臺に立つた同君の英姿は氣持よかつた。

大崎と本田は雌伏に屈せずやり通し立大軍の中堅として頑張り見事芽が出て嬉しい限りであつた。之を機會に精進一路猛進されん事を祈る。

高尾と柴原も確實に豫選をパスして地味乍ら得點した。此處で惜まれるのは早大陣の無人である。

本試合は水物だから飛抜けてみない限り優劣の差はつけられず、更にレースそのもの存在價值も相當問題にしていと思はれる。も一つは日大の林田が平泳から自由形に轉向し豫選で落ちて成功しなかつたが優勝をねらふ日大の細心な打開策として之を見る。

### 200 米自由形決勝

- 1) 新井 茂雄(立大) 2:10.6 (大會新)
- 2) 宮本 茂(早大) 2:14.4
- 3) 杉浦 重雄(早大) 2:17.2
- 4) 鷺谷 光明(日大) 2:17.4
- 5) 鶴藤 俊平(立大) 2:19.8
- 6) 杉田 芳郎(早大) 2:20.6

新井は 28 秒臺 1 分 2 秒 2、1 分 36 秒臺で泳ぎ斷然強く快勝新井の強さに就ては始ど完成された泳ぎだから唯強いなあと感心する外はなくつくづく來年のオリンピック中止が惜まれる。宮本は 14 秒で豫想に反したが新井に續く所は氣強く感ぜられる。それにしても 15 秒きる人が二人しかゐないのが淋しい、杉浦は巧妙なタッチで鷺谷を破つたが記録としては慾も云ひたいが百と共に三等をとり着實に戦つた所は目立ぬ乍ら稱讚していい但し豊富な人材を擁する早大陣のリーダーとして潑沔たる積極的精神力が慾しい。

鷺谷は二百を中心として四百にしようか百にしようかと持前の融通性に焦點を合せかねてゐるがピッチの速いだけに百に分がある様に思はれる。好漢自重されよ。

鶴藤は着實に點を稼いだ所はいい、フォームとして以前は腰がゆれても肩が前に出てゐた。今は腰がやゝゆれて肩が落ちる。足が弱くなつたか途中で遊んでる様にもみられるし、體がのつてゐない様にも見られるが強い弱い不拘彼は一流選手である。ラストもよく頑張つて見事だつた。根上さんと一諸に

ゐた頃の元氣と好調を望むし立大陣のすべてがさうあつたと切に希望するものである。

杉田も早大の中堅として今年以上の張切りが慾しい所、外早大の山下、重山立大の岩田等も素質は優秀だから芽の出ないのに腐ることなく大崎、本田兩君の例に倣つて雌伏に屈せず精進され度い。それにはロングから進んで打開の路を伐り開く事も賢明じやないかと思考する。

### 200 米リレー決勝

- 1) 立 大(新井、大崎、本田、坂本) 1:48.0
- 2) 慶 大(高尾、宮崎、兒島、井上) 1:49.0
- 3) 早 大(杉浦、宮本、谷口辰、吉田) 1:50.0
- 4) 日 大(柴原、佐々木、河野、鷺谷) 1:50.2
- 5) 明 大(後藤、豊島、山口、藤堂) 1:54.6
- 6) 關學大(三谷、矢住、田村、庄田) 1:54.8

格別に云ふこともないが自由形以外の陣營から 8 人も出場してゐるのが目立つ、殊に背泳の兒島、吉田、河野、坂本、谷口と揃つて出場して重要な役目を果してゐるのである。八百リレーのメンバーを揃へる事より容易だが勝つ事は仲々難かしいと思はれる。

かくして優勝の榮冠は日大軍の手に收められた。而も好記録續出して終始接戦裡に終了した事は名實共に兼備した快戦と稱讚しても過褒ではない。

66 點を以て優勝せる日大は葉室主將、村上マネージャーの下に一致團結し、メンバーもスタープレーヤーも豊富で文字通り堅陣を突破し得たのである。天野の四百制覇の功が光つてゐるが、その裏にチームの一丸となつての迫力が最も強く感ぜられることである。安田、豊田、遊佐先輩の胸中や如何に!

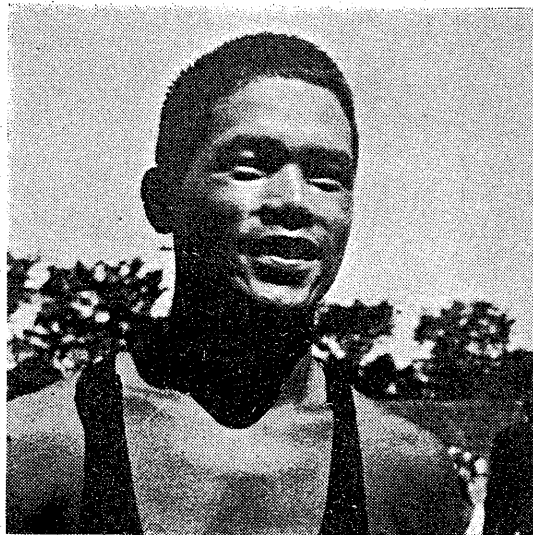
鷺谷の好調は背泳の谷口、河野の着實な戦績と並んで優勝を確保し、佐々木は快心の記録こそ出なかつたがよくその職責を果し、飛込から廻つた柴原も期待をかなへてくれ唯栗原、越戸の敗戦が遺憾であつた。

早大は 60 點で第二位だつたが、悲運が伴つて氣の毒であつた。即ち山田主將の負傷缺場と田中副將の病氣等で八分の力しか發揮できなかつた。従つて中心がなく選手も一般に若く慾を云ひたかつたのはこんな時杉浦君等が潑沔たる積極的リードをとつて士氣を鼓舞して貰ひ度い事であつた。然し宮本の大成も漸く近きを望み、吉田の闘志を加へた力斗の跡と古川の野心に乗つた英姿等たとへ「都の西北」が





飛板飛込優勝者  
(日大) 柴原恒雄



高飛込優勝者  
(早大) 小柳富男



混合飛込優勝者  
(日大) 毛利元英

一度しか聞かれなかつたにせよ來年への期待に容易に妥協できて嬉しかつた。

第三位 55 點の慶大も不運につきまとはれた。寺田君の病氣快復不充分のため無得點に了つた事と四百自由に於ける高橋の惜敗等が大きい。然し片山の八百自由に於ける力戦奮闘の跡は思出すだに感激のたねである。彼の逞しき精神力の前には敬服せざるをえない。宮崎の五十自由の制覇も氣持よかつた、兒島がタッチで吉田に勝つた所も又勝負で負けたが力と泳ぎに最も優秀さを見せた高橋と地味乍らよく得點した長久等豫想外の善戦に終始した。

第四位の立大は 52 點を得點した。メンバー不足ではあつたが要所要所に偉材を揃へて一步も譲らない所氣持がよかつた。新井の強さは唯啞然たるものである。根上さんがリードして鶴藤君を育て上げた様な役目を新井君に來年から期待する。大崎、本田、岩田、太田と多士濟々の人材をよく磨きあげて貰ひ度い、背泳陣のスケールが小さくなつたが坂本君の奮起を望む。大崎本田兩君の善戦は稱讚されていゝ。大浦も確實に強くなり來年早大古川との對戦が待遠しい。鶴藤主將を中心とした陣營はそのまゝ來年迄持越されるが人員が少いだけ各員の持つ責任は重いわけだから特に自重を望む。本間君の悲運を重ねて悔み蔭の人守田マネジャーの功を多とする。

明大奮起の跡は本然の姿に立戻つて氣持がよかつた。關東學生から三四日をおいて本大會に望んだから試合として無理であつた事と思はれる。有能な新人も多いし明治の期待は上昇的のコースに向かつただけ大きい。強引にやつて欲しい。

關學大、關大の關西勢は關東勢に壓倒され盡したが刺戟が少い事もその原因であらうが第一に感ぜられた事は練習とか心構への即ち水泳精進の苦しさのレベルが關東に比して數段と下である様に見受けられた。

東海の名古屋高商は無得點だつたが棄權が少かつたのは何より氣持ちよかつた。

西部代表九大軍に對しては多大の犠牲を拂つて参加してくれた事を第一に喜びとしたい。

## 附 記

尙詳しき記録的見地から本大會の解剖とその粹を集められた白山さんの記事を一覽されたらその興味は尙深々たるものがある事を附記する。

# 数字を通して見た



## 本年度インターカレチ競泳

白山源三郎

インタカレチ競水泳は記録の更新に興味のある試合でない。学校の争覇戦であるから對抗気魄、策戦、チームワーク等に興味のある中心がある。タイムはこの次である。此試合をタイムの数字から覗くのは如何にも見當違たるを脱れない。不幸にして此試合につきも数字を扱ふ側に廻された関係上敢て見當違を覚悟で数字から此試合を覗くこととする。数字的に何等かの参考となり得たら幸である。

腹案は色々あつたが扱やつて見ると思つた様に資料がないのと充分の時間がないので、計畫の半分も實現しない。数字より得た面白い結果は甚だ少なく、結局参考資料の羅列に終つた。八百米リレーの資料のないのは残念、外に豫選準決勝等の資料もあるが時間都合で割愛した。

### 百米自由形決勝に於ける 50m のラップタイム

	着順	50米	着順	100米	後の50米
新井(立大)	(1)	27.0	(1)	57.8	(30.8)
佐々木(日大)	(2)	28.4	(2)	59.8	(31.4)
杉浦(早大)	(3)	29.4	(3)	1:1.8	(32.4)
大崎(立教)	(6)	29.6	(4)	1:2.0	(32.4)
高尾(慶應)	(4)	29.2	(5)	1:2.0	(32.8)
杉田(早大)	(5)	29.4	(6)	1:2.6	(33.2)

百米はフルダツシであるから變動の起り様がない。

### 四百米自由型決勝着順、記録、途中時間、途中着順、百米平均時間

	天野 (日大)	高橋 (慶應)	宮本 (早大)	鷺谷 (日大)	片山 (慶大)	田中 (早大)	宇田 (早大)	越戸 (日大)	栗原 (日大)
100米	3 1:07.0	5 1:07.4	1 1:06.0	1 1:06.0	7 1:09.0	4 1:07.2	8 1:09.8	6 1:08.0	9 1:10.0
200米	3 2:20.4	5 2:23.4	1 2:19.2	2 2:20.2	7 2:23.6	4 2:21.8	8 2:25.0	5 2:23.4	9 2:27.4
	1:13.4	1:16.0	1:13.2	1:14.2	1:14.6	1:14.6	1:15.2	1:15.4	1:17.4
300米	2 3:34.6	3 3:36.8	1 正式 3:34.0	4 3:37.2	6 3:40.6	5 3:39.0	8 3:42.4	7 3:41.6	9 3:45.4
	1:14.2	1:13.4	1:14.8	1:17.0	1:17.0	1:17.2	1:17.4	1:18.2	1:18.0
400米	1 4:48.0	2 4:48.2	3 4:51.0	4 4:53.0	5 4:55.8	6 4:56.2	7	8	9
	1:13.4	1:11.4	1:17.0	1:15.8	1:15.2	1:17.2			
着順 平均	1:12.0	1:12.05	1:12.75	1:13.25	1:13.95	1:14.05			

注、各欄の下ノ数字は各百米ノ所要時間

い。大崎が後半割合に弱らないことが判るだけが面白い所がある。

### 二百米自由形決勝に於ける百米の途中時間

	着順	百米	着順	二百米	後ノ百米
新井(立教)	(1)	1:2.0	(1)	2:10.6	(1:8.6)
宮本(早大)	(2)	1:3.8	(2)	2:14.4	(1:10.6)
杉浦(早大)	(3)	1:4.8	(3)	2:17.2	(1:12.4)
鷺谷(日大)	(3)	1:4.8	(4)	2:17.4	(1:12.6)
鶴藤(立教)	(8)	1:8.0	(5)	2:19.8	(1:11.8)
杉田(早大)	(7)	1:5.8	(6)	2:20.6	(1:14.8)
島本(慶應)	(6)	1:5.6	(7)		
岩田(立大)	(5)	1:5.2	(8)		
渡邊(慶應)	(9)	1:7.2	(9)		

杉浦と鷺谷が徹頭徹尾セリ合つたと鶴藤にダツシのスピードのない事が判る。

### 新井の 50 米毎の途中時間

50m所要時間	
50 米	28.6
100 米	1: 2.0
	(又ハ 1:2.2)
150 米	1:36.0
200 米	2:10.6

之で見て新井が比較的コンスクンドで泳ぐ事が判り

四百米決勝では宮本が三百になつて疲れてラスト利かず一分十七秒を要して一擧に三位に落ち、高橋滑り出し極めて悪く殊に二百米での百を一分十六秒かかり、五位に甘んじたが、三百米になつて漸くスピードがつきラストの百は一分十一秒四で素ツ飛し

たので天野とポイント2まで漕ぎつけた。驚谷は例の如く最初から飛んだが三百米の百が一分十七秒も要したのがいけなかつた。あすこで頑張り通すことが必要であらう。

八百米自由形決勝記録着順同途中時間、途中着順及び百米平均時間

	天野 (月大)	高橋 (慶應)	片山 (慶應)	田中 (早大)	本間 (立教)	宇田 (早大)	栗原 (日大)	越戸 (日大)	岩切 (立教)
100米	2 1:07.4	2 1:07.4	5 1:10.2	4 1:09.4	1 1:06.8	5 1:10.2	9 1:11.0	7 1:10.4	8 1:10.6
200米	2 3:23.2 2:15.8	3 2:23.4 1:16.0	5 2:26.4 1:16.2	5 2:26.4 1:17.0	1 2:22.6 1:15.8	4 2:26.2 1:16.0	9 2:29.8 1:18.8	7 2:28.2 1:17.8	8 2:29.2 1:18.6
300米	1 3:39.2 1:16.0	2 3:40.2 1:16.8	5 3:44.0 1:17.6	4 2:43.6 1:17.2	3 3:40.4 1:17.8	6 3:44.4 1:18.2		3:49.0 1:20.8	3:50.0 1:20.8
400米	1 4:55.4 1:16.2	2 4:58.6 1:18.4	5 5:01.8 1:17.8	4 5:1.0 1:17.4	3 4:59.4 1:19.0	6 5:4.6 1:20.2	7 5:10.0	8 5:11.0 1:22.0	9 5:11.2 1:21.2
500米	1 正式 6:12.4 1:17.0	3 6:18.6 1:20.0	2 6:19.8 1:18.0	5 6:20.2 1:19.2	2 6:18.4 1:19.0	6 6:24.8 1:20.2	7 6:31.0 1:21.0	8 6:31.4 1:20.4	9 6:33.2 1:22.0
600米	1 7:28.6 1:16.2	3 7:37.6 1:19.0	2 7:37.4 1:17.6	5 7:42.4 1:22.2	4 7:38.6 1:20.2	6 7:45.2 1:20.4	8 7:53.4 1:22.4	7 7:53.2 1:21.8	9 7:56.4 1:29.2
700米	1 8:46.0 1:17.4	3 8:56.4 1:18.8	2 8:56.0 1:18.6	5 9:2.8 1:20.4	4 8:59.0 1:20.4	6 9:08.0 1:22.8	7 9:12.4 1:19.0	8 9:17.0 1:23.8	9 9:18.6 1:22.2
800米	1 10:01.6 1:15.6	2 10:10.6 1:14.2	3 10:12.0 1:16.0	4 10:17.4 1:14.6	5 10:18.8 1:19.8	6 10:26.2 1:18.2	7	8	9
着順/平均	1:15.2	1:16.33	1:16.5	1:17.2	1:17.35	1:18.4			

註 各欄ノ下部ノ数字ハ各百米ノ所要時間

八百米の決勝は本間が先づ飛出して三百までリードしたが天野が其後着實に終りまで先頭を切つた外、高橋、片山、田中、本間の間に終始抜きつ抜かれつの混戦が演ぜられた、それが途中着順でよく現れて居る。宇田は此一群から稍遅れて泳ぎ、次に栗原、越戸が又抜きつ抜かれつ泳いで居る。

百米背泳決勝の50米の時間

	着順	50米	着順	100米(後の50米)
兒島(慶應)	(1)	31.8	(1)	1: 8.2 (36.4)
吉田(早大)	(3)	32.8	(2)	1: 8.2 (35.4)
谷口(日大)	(2)	32.6	(3)	1: 9.0 (36.4)
河野(日大)	(4)	33.8	(4)	1:11.0 (37.2)
坂本(立教)	(5)	34.4	(5)	1:12.2 (37.8)
平賀(立教)	(6)	35.4	(6)	1:12.6 (37.2)

就れもモット頑張れないものであらうか、後半は吉田が一番うまく泳いで居る。然し之れは前半が遅すぎる。

百米平泳決勝に於ける途中時間

着順 50米 着順 100米(後の50米)

葉室(日大)	(1)	34.2	(1)	1:12.8 (38.6)
古川(早大)	(4)	35.8	(2)	1:15.2 (39.4)
長久(慶應)	(4)	35.8	(3)	1:16.0 (40.2)
大林(早大)	(1)	34.2	(4)	1:16.4 (42.2)
大浦(立教)	(6)	36.0	(5)	1:17.0 (41.0)
吉田(早大)	(3)	34.8	(6)	1:19.2 (44.4)

最初の五十米では全部に殆んど差がなく後の五十米の差が結局勝負を定めて居る割合に餘裕のある種目の特色であらう。茲に研究のし所があるらしい。此種目では恐しく各選手のペースがまちまちである。

二百米平泳決勝の途中時間

	着順	100米	着順	200米(後の100米)
葉室(日大)	(1)	1:17.0	(1)	2:42.6 (1:25.6)
大浦(立教)	(3)	1:21.0	(2)	2:47.0 (1:26.0)
古川(早大)	(3)	1:21.0	(3)	2:47.6 (1:26.6)
野田(明大)	(3)	1:21.0	(4)	2:48.2 (1:27.2)
長久(慶應)	(2)	1:20.8	(5)	2:51.0 (1:30.2)

寺田(早大) (3) 1:21.0 (6) 2:55.2 (1:34.2)  
 三輪(早大) (7) 1:24.6 (7)  
 田口(日大) (8) 1:25.2 (8)  
 百米同様、葉室を除く五人共初めの百には殆んど

差がつかない。結局最後のがんばりで勝負が決定してゐる。

二百米リレー決勝は關大、高松、九大棄権六校で行はれた。

	立教	慶應	早大	日大	明大	關學
50 米	2 27.6	2 27.6	1 27.4	4 28.0	6 29.4	5 29.0
100 米	2 54.2	1 53.0	4 55.8	3 54.4	6 57.8	5 57.6
	26.6 25.4					
150 米	2 1:20.6	1 1:20.4	4 1:22.2	3 1:22.0	5 1:26.2	6 1:26.8
	26.4 27.4					
200 米	1 1:48.0	2 1:49.0	3 1:50.0	4 1:50.2	5 1:54.6	6 1:54.8
	27.4 28.6					
着順 平均	27.0	27.25	27.5	27.55	28.68	28.7

註、各 50 米各の下のタイムは個人平均タイム

表にして見ると色々面白い事実が判る。

慶應の二番宮崎が廿五秒四で五〇米を泳いで居る。スタートが引繼であるから一秒近い得をしたとしてもよいタイムである。之れで立教を一秒二離してリードを奪つた。

同じく二番で早大宮本がスツカリ縮尻つて二十八秒四(デットスタートなら二十九秒位)かゝり、一番から四番に轉落、續く二人が苦しい思ひをして、やつと三着に喰込み。

慶應宮崎の猛闘利いて傳統の逃込み成功かと思へたが最後の土壇場で惜負。結局は二十八秒以内の選手を揃へ得た立教が覇權を握つた。

明大は一番以外全部二十八秒四である一番はデットスタートであるから之をクイツクに直して一が利するものとすれば之亦二十八秒四で全秒部同タイムであるのは面白い。

決勝出場権獲得者数及一等ノ數

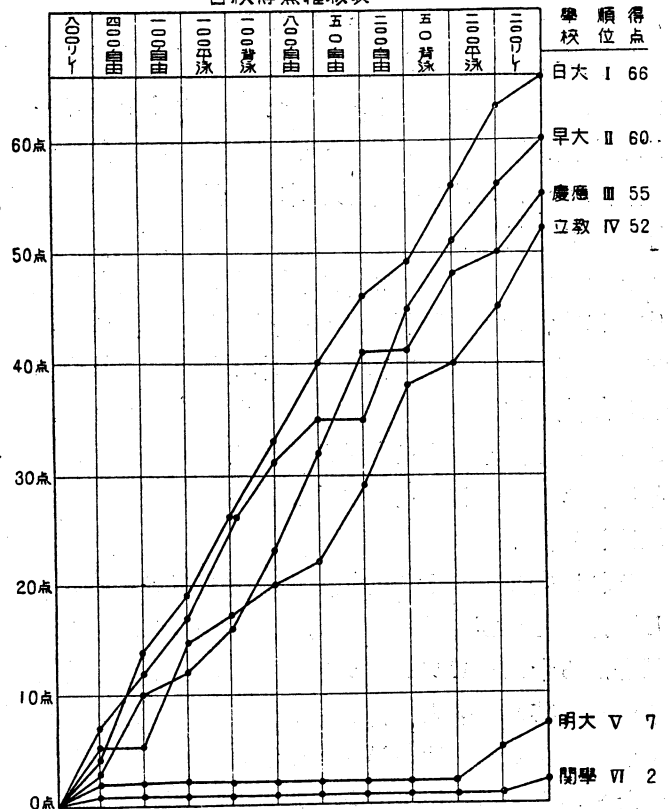
	五十米	百米	二百米	四百米	八百米	背泳	平泳	計	一着ノ數
日大	2	1	1	4	3	4	3	18	4
早大		2	3	3	2	3	6	19	1
慶應	2	1	2	2	2	2	2	13	3
立教	2	2	3		2	3	2	14	3
明治							1	1	0
關學									0

上表に依つて見れば早大の敗因が五十米に入選者のなかつた事と英雄なくて上位得點の出来なかつた

事による事明かである。よく人數の勢を以て二位迄喰入つたと云へる日大は入選者數に於ても優勝の數に於ても堂々たる優勝校の實質を具へてゐる、同様に慶應の第三位も其資格を充分持つたものと云へる。立教の四百米缺員は大きな痛手であつた。

次のグラフによると其間の消息が判然とする即ち早稲田は五十米で立教は四百米で足踏して追越されて居る。

各校得点推察表



日本水上競技大會兼第十二回オリンピックヘルシンキ大會豫選飛込競技は晴天に恵まれ八月十二日午後十二時より男子飛板飛込を以つて初められ第二日は午後一時より女子飛板飛込同高飛込が行はれた、第三日には午後十二時半より男子高飛込が行はれた、此の競技は飛込選手に取つて來年のヘルシンキ大會への出發の都合も有り重大な競技で有つた、飛込もオリンピックに於て相當望が掛けられるやうに發達して來た此の秋に非常に喜ばしい事は當大會の飛込に故飯田光太郎氏記念トロフィー（前67號27頁紹介）と故岩切盛行氏記念トロフィー（67前號8頁紹介）の寄贈され

た事である。其のやうに今年には意義有るトロフィー二個も出た競技は如何で有つたか云へば次の如く大成績で有つた、過去二年間日本の飛込は基礎技術の不足から飛込極値とも云ふべき空中の安定から來る整美とも云ふべきものが缺けて居ると云ふ見解から規定飛に非常な易き種目を取つて居つたので有つた、其の基礎技術の練習期間も過ぎ本年から國際規定に依る規定飛に移り其効果が有つたか無かつたかと云ふ事を選手諸兄が見せてくれる競技會で有つた、効果は吾々の期待に反せず非常なもので有つたものと思はれる。

それは去年迄は七人を規定飛に於てピックアップし選擇飛を飛び優勝を争つたが、本年からは色々と都合から十人をピックアップし選擇飛を飛び優勝を争つたが其の10人全部が110點以上の點數を出して居つたと云ふ事は飛込全般が進歩し其の効果が有つたものと見るべきで有らう、其して柴原の159.63



又小柳の156.93は共に次のヘルシンキ大會への望は大きくなり日本の飛込は世界のレベルまで達したと云つても過言ではない。又久保の135.22高濱の132.09は共に柳原小柳の良き後繼者である。

併し關西の飛込は久保高濱が關東に來てしまつた後は實に淋しいもので有つた過ぐるロスアンゼルス當時の關西の飛込の如く返り咲くやう努力されたい。

女子の方は來年のヘルシンキ大會に参加か不参加かと云々されて居る時に去年の大阪大會に比すれば出場選手の少なかつたと云ふ事は淋さを感じさせられた、飛込に於ては淋しかつた、それは選手の多くは高飛込に専心し

居つたからでも有らうが日本の女子の選手とし仕方のない事だらうが大いに考慮する必要も有らう、量的には非常に淋しかつたが質的には非常に進歩して居つた、大澤(政)建在なり、ことに立松の進歩は吾々を喜ばせてくれるものが有つた。

男子飛板飛込に於ては、柴原小柳の一位争で有つた。昨年の日本學生大會にて柴原は不調から小柳に飛板飛込高飛込共に破れ此の全日本大會は其の復讐とも云ふべき試合で有り又二人共學生最後の全日本大會でも有り共に負けられぬ此の一番で有つた。

其して小柳も柴原も反對氣持を持つた飛込をしておつた、柴原は飛込のスケールの大きさと勢を武器とし小柳は飛込のスムーズと入水を武器とし戦ひ非常な接戦をした。併し柴原は走一回捻り乍ら前宙返り一回半を失敗したけれど小柳の規定飛の低調で有つた事と選擇飛の一種目(走前逆宙返り一回半)を失敗した處から2.8の少差を持つて破れた、破れた

とは云へ 156.83 と云ふ堂々たる 點數ではくいる處は無かつたで有らう 柴原も去年の不調を抜け159.63の點數を出したと云ふ事は君のやうに非常な數を飛び調子を出す選手は其の努力に敬意を表するもので有る、柴原もなほ一層調子をもどし入水の研究を望む、又小柳の後踏切前宙返り一回半は見事なもので有つた、三四位の久保高濱も共に相反した飛込で久保は幾分消極的な飛込をして居り高濱は積極的な飛込をしており非常な競合をした、久保は高濱に規定飛込に於ては負けて居り選擇飛に這入り調子を出し高濱を破り第三位となつた、そして共に130點と云ふ點數は第一線と第二線の間を非常に接近させた事は喜ばしい、併し久保は掛が鈍ぶく高濱は體は堅いと云ふ處に缺點が有つた、其して飛板飛込出場選手を全般的に見て後宙返り一回と後飛半回捻りとはもつと大いに研究されたい。

### 飛板飛込の結果

男子高飛込に於ては、柴原の練習不足から二種目(後踏切前飛・後宙返り二回)を失敗し小柳の一方的の勝となり故岩切記念トロフィーを獲得した、そして小柳にしても飛板飛込の練習に迫れ高飛込に於ては幾小分練習不足といふ感は有つたが君の持つ神経と入水の感覺に一種目々々々堂々と飛び120點を越した事には敬服する、柴原は練習不足の上に難種目を取つて故非常に苦かつたと思はれる、其して又去年の不調からの變り時でも有つたらうから幾分踏切にも無理が有つた、全國學生大會には共に125點臺を出して欲しい又小柳の走前逆途中宙返り一回半の完成に努力されたい、三四位の高濱久保は瓶子(前早大)なき後の良き第二線の高飛込選手で有る高濱は高飛込に専心した事と飛込の大膽と云ふ處から久保を破り第三位に這入つた、中等學校時代同學校に於て選手生活をしておつた二人としては共に仲よく三位を別けたものだ不思議なくらいだ、共に未だ飛板の經驗を持ち、飛んで居るだけで未だ高飛込は完成しておらぬ故大いに練習されん事を望む。

### 高飛込の結果

女子飛板飛込に於ては大澤、立松の競合すごく規定飛に於ては大澤(政)は立松を 0.46 と云ふ少差のリードで有つた、併し一日の長の有る大澤の優勝となつた、破れたりとは云え立松と大澤とは甲乙を付ける事の出来なかつた、立松の進出と云ふ事は大澤

に取つても立松に取つても共に良き目標となり練習に勵みが出る事だらう、又二人共選擇飛にもつと上位の種目を取り次のオリンピックを目ざすべきで有らう、次に光永、田中の争ひは田中は練習中に見ればもつと上位に這入ると豫想されて居つたがカチカチに上つてしまひ非常な失敗を續出しおしくも光永に第三位を譲つてしまつた、光永としては非常に氣の樂な試合で有り順調に飛んで居つた、女子の飛板飛込に於ては踏の研究を大いにされたい。

### 女子高飛込

競技順	氏名 所屬	規定飛				順位
		1	2	3	4	
1	田中 キヨ 第六高女率	8.36	8.16	9.38	7.02	5
			16.52	25.90	32.92	
2	立松 文子 成女高女	7.70	7.44	10.78	10.27	2
			15.14	25.92	36.19	
3	小島 房江 府立第六高女	6.38	9.00	6.44	6.44	6
			15.38	21.82	28.97	
4	大澤 禮子 精美會	8.47	9.48	8.54	8.97	4
			17.95	26.49	35.46	
5	大澤 政代 鑛山機械組合	9.13	10.08	10.50	8.06	1
			19.21	29.71	37.77	
6	光永 和子 常盤松高女	7.59	9.36	10.64	8.58	3
			16.95	27.59	36.17	
7	内海通達子 府立第六高女	7.59	6.48	8.12	5.98	7
			14.07	22.19	28.17	

### 女子飛板飛込の結果

女子高飛込に於ては常將大澤(禮)は最初の立前飛の失敗から後の三種目をも失敗し第四位に落ちてしまつた、女子高飛込は四種目と云ふ少ない數の試合で有る故非常に不確實でも有るが其の反面非常に期待も出来るものであるが大澤のやうな失敗は珍しい。

併し高飛込に於ては常に不調で有つた、大澤(政)が飛板と同じく立松と競合となり調子に乗つた大澤の勝となり故飯田氏記念トロフィーを獲得した、立松としても二つの前飛の不備で有つた事は一考を望む次第でもつと腰から決めて踏切つた方が良いと思ふ、第三位の光永も手の振り方に餘り氣を取られず

男子高飛込

競技順	氏名 所屬	規定飛				選擇飛				順位
		1	2	3	4	5	6	7	8	
1	北田 舜次 慶大	9.00	12.92	12.16	11.10	11.04	12.06	9.86	8.74	5
			21.92	34.08	45.18	56.22	68.28	78.14	86.88	
2	柴原 恒雄 日大	9.24	16.34	15.58	9.30	18.92	18.26	16.56	10.58	2
			25.58	41.16	50.46	19.38	87.64	104.20	114.78	
3	奥島經一郎 慶大	7.20	11.21	9.88	5.10	9.28	6.60	12.35	8.82	10
			18.41	28.29	33.39	46.67	50.27	62.62	71.44	
4	山田 一男 明大	5.52	10.64	13.49	5.70	9.60	9.50	13.14	3.74	11
			16.16	29.65	35.35	44.95	54.45	17.59	71.44	
5	矢野 幸松 慶大	7.80	7.60	1.46	7.50	10.50	14.44	12.07	7.92	8
			15.40	21.86	29.36	39.86	54.30	66.37	74.29	
6	久保 欣治 稻泳會	8.04	11.97	14.06	5.70	11.44	13.68	13.42	15.75	4
			20.01	34.07	39.77	51.20	64.89	78.31	94.06	
7	天利 元英 日大	9.24	10.83	9.50	4.20	10.64	10.40	9.18	10.12	9
			20.07	29.57	33.77	44.41	54.81	63.99	74.11	
8	永原 隆 稻泳會	7.84	6.84	13.49	9.95	13.14	11.20	11.59	7.60	6
			14.64	28.13	37.88	51.02	62.22	73.81	81.41	
9	小柳 富男 稻泳會	9.72	16.15	15.01	12.90	19.14	16.28	18.48	14.49	1
			25.87	40.88	53.78	72.92	89.20	107.68	122.17	
10	奥田 正勝 明大	8.16	13.30	7.22	10.05	19.64	11.90	7.04	11.40	7
			21.46	28.68	38.73	49.77	61.67	68.71	80.11	
11	高濱 武 日大	6.84	14.44	14.44	9.00	16.28	13.20	16.80	14.25	3
			21.28	35.72	44.72	61.00	74.20	91.00	105.25	

女子飛板飛込

競技順	氏名 所屬	規定飛				選擇飛				順位
		1	2	3	4	5	6	7	8	
1	光永 和子 常盤松高女	9.76	11.20	13.86	8.96	13.14	11.02	11.16	12.80	3
			20.96	34.82	43.78	56.92	67.94	79.10	91.90	
2	大澤 政代 鑛山機 械組合	12.16	11.68	13.86	9.76	12.96	13.68	13.14	14.80	1
			23.84	37.70	47.46	60.42	74.10	87.24	102.04	
3	立松 文子 成女高女	10.40	11.84	12.60	12.16	12.96	12.48	14.58	13.87	2
			22.24	34.84	47.00	59.96	72.44	87.02	100.89	
4	田中 キヨ 府立第六 高女卒	9.28	10.88	10.80	7.04	13.50	10.40	13.42	10.37	4
			20.16	30.96	38.00	51.50	61.90	74.32	84.69	

### 男子飛板飛込

競技順	氏名 所属	規定飛					選擇飛					順位
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
1	柴原 恒男 日大	13.60	12.96	15.30	11.48	13.28	19.14	17.22	19.78	18.70	18.17	1
			26.56	41.86	53.34	66.62	85.76	120.98	122.76	141.46	159.63	
2	塊原 一夫 關學	10.08	10.08	13.14	8.96	12.32	13.86	10.50	8.00	8.80	14.80	9
			20.16	33.30	42.26	54.58	68.44	78.94	86.94	95.74	110.54	
3	加茂 正美 稻泳會	11.52	12.00	14.04	5.88	10.40	13.86	14.80	13.64	15.40	12.60	6
			23.53	37.56	43.44	53.84	67.70	82.50	96.14	111.56	124.14	
4	高濱 武 日大	11.68	12.32	13.86	10.08	10.56	13.23	14.07	17.02	13.40	15.87	4
			24.00	37.86	47.94	58.50	71.73	85.80	102.82	116.22	132.09	
5	杉原 雪夫 慶大	11.36	11.52	14.94	8.68	6.00	12.96	11.97	14.04	8.00	8.74	10
			22.88	37.82	46.50	45.50	67.46	79.43	93.47	101.47	110.21	
6	岩佐 道雄 慶大	9.92	11.52	11.52	9.10	11.52	13.32	13.60	12.60	10.80	12.35	8
			21.44	32.96	42.06	53.58	66.90	80.50	93.10	103.90	116.25	
7	小柳 富男 稻泳會	13.76	13.44	14.22	11.34	12.48	18.48	17.64	17.71	19.31	18.40	2
			27.20	41.42	52.76	65.24	83.72	101.36	119.07	138.43	156.83	
8	久保 欣治 稻泳會	11.68	12.60	14.04	6.72	11.20	15.75	15.62	15.60	16.28	16.33	3
			23.68	37.72	44.44	55.64	71.39	87.01	102.61	118.89	135.22	
9	北田 舜次 慶大	10.40	11.52	13.50	10.08	9.60	12.96	13.49	16.28	14.60	7.60	7
			21.92	35.42	45.50	55.10	68.06	81.55	97.83	112.43	120.03	
10	毛利 元英 日大	12.00	9.92	13.50	8.26	11.04	14.07	12.39	16.50	14.20	15.40	5
			21.92	35.42	43.68	54.72	68.79	81.18	97.68	111.88	122.28	

き體で空中に出ると云ふ感じが少ないやうに思われた、本年の高飛込は非常な番狂で有つたが大澤(禮)田中が順調に飛んで居つたならば面白い競技が行はれて居つた事だろうが二人の失敗から女子高飛込の進歩した處を見せてくれなかつたと云ふ事は残念であつた。

#### 女子高飛込結果

此の全日本大會の成績より各外國の飛込選手とを比べ來たるべきオリンピックには如何なる結果になるかと云えば去るベルリン大會に於ける成績よりもなほ一層の期待は出来るものと思ふ、又選手にもそれだけの自身も有る事であろう、結局日本の選手は目標は米國獨乙の各選手で有る、點數の上より見れば全米大會の優勝者ウエーン全獨大會の優勝者ヴィノスとは柴原小柳、は共に 2.3 點の差で有る、併し

此2.3 點の差は飛込の如何なる點に有るかと言へば色々原因も有る事だらうが即直に云えば日本選手の飛込は外國選手の飛込に比べて飛込の整美と云ふ點が缺けて居るので有る、此の整美と云ふ點を造り出すに容易でなければ次のオリンピックにも望は薄い、併し今年のやうな偉大な進歩を見せた第一線選手としては困難な事ではなからう、故に次回オリンピックには相當の望を掛けてよいのであらう。

#### 結 論

水泳日本の飛込競技も堂々世界の舞臺に活躍し得る自信が出来る様になつた。柴原、小柳の両者が然も各獨特の味を見せて第一線に之に、續く高濱、久保、北田有り、一方女子飛込の大澤政代、亦今回は練習不足であるが禮子、亦立松、光永等の擡頭は男子飛込界發展と共に飛込レベル向上を物語つてゐる。





# 十八回日本學生選手權 水上競技大會に優勝して

日本大學水泳部主將 葉室鐵夫

昨年のインターカレッジに惜しくも覇權を逸してより、我々の目標はインターカレッジの覇權奪還であつた。

昨年の戦跡をかへりみるならば、充分優勝の實力を持ちながら、九月四日よりの練習に十日頃には、一同の調子が最高に達し、其の後の練習は選手の精神的な疲勞を來した。

絶対に優勝を信じてゐた天野が四百自由形に二着となり二百米自由形に於いて鷺谷の努力により慶應と同點になりながら次の五十米自由形に壓倒的に得點の差をつけられ終に最後迄之を返すことが出來ず二位に甘んじなければならなかつた。

選手の量も實力も充分勝ち得るものでありながら負けたのは新人選手の大試合に對する未経験にも依るがやはり全體の氣力の不足に依るもので、慶應に優勝の歌が上つた時には、そこには氣力の相違を感じさせられた、今此所に我々が優勝したに付いて考へてみるならば斷然氣力に於いて他校に勝つてゐた事を感じるのである。

昨年の戦は、敗軍の將・兵を語らずのことわざ通り、當時語らなかつた、然しながら我々に取つては昨年の敗戦こそ今年の勝利の基であると思ふ。

我々は昨年、戦に敗れてより直ちに今年に對する準備を初めた、先づ最初に考へた事は如何にして全選手の氣分を引緊めてインターカレッジへ持つて行くか、此の氣分は一朝一夕にして作り上げ得るものではない。

昨冬の比島遠征も或る一部の人からは體をこわしたり、水泳に對する氣分のだれることを恐れて取り止めた方が良くはないかと云はれたが、私は率先して、それ等の試練を受けそれに打勝つ力を養ふ意味から、此の遠征を斷行しました。

歸國後三月、天野君の盲腸炎の手術の結果が悪く、今年のシーズンには駄目かと不安もあつたが同君の闘争精神と努力は之等の難關をもものともせず八月全

日本には堂々たる回復振りを見せた。

然し其の陰にも、村上マネージャーの或る時には鐵拳をさへ加へると云ふ程の文字通りの鞭撻があつたことを忘れてはならない。

昨年五月、共に、日大プールのある東横沿線にわざわざ住んで居られた豊田水泳部監督、安永先輩を相次いで戦線に送り、我々の指導は直接自分達でやらなければならなくなつた、然も、昨年インターカレッジ迄に不敗の記録をを作りながら最後のインターカレッジに惜敗した。

今年三大學、四大學の成績も餘り満足すべきものではなかつた、然して全國高專には惨敗し、意氣甚だ上らなかつたが、私はひそかに、高專で敗けた時のでやつと皆の氣持が敗れたいと云ふ氣分が強くなつたと陰で嬉んだ。

然も高專大會に出場しない學部の選手が、黙々として、練習にはげみ、從來豫科専門部の若い選手が張り切つて、學部の選手を引づつて練習をやつたのが、反對に學部の選手が精神的にリードして、着々と練習の効果を擧げて行つた。

關東選手權、全日本選手權共に全選手の調子は本格的に出たとは云ひきれない、然し之でインターカレッジには充分自信を持ち得た。

中距離の宮本、田中、高橋の活躍には内心不安を感じたが、之に對しても、天野鷺谷を以て、對等に戦ひ得ると云ふ自信を得た。

新人選手の居ない中長距離が氣分的に年取つて覇氣が少くなることを恐れ、中長距離選手の訓練を目的とした合宿練習を八月二十五日より一週間行つた、厳格な規則の元に苦しい練習は、各選手の調子を向上させるよりも疲勞させるかに見えた、天野が八百米を十分以内で泳いだとは云へ、天野自身に取つても苦しいばかりで調子が出ない練習であつたと云ふ感を持たせた。

此の間他の選手は短距離、平泳、背泳、共に、其

の主戦選手が練習を始めて直ぐに調子が出る選手であるので、充分の休養を取る様にさせた。

新しくして一週間の訓練を経た中長距離陣と充分の休養を取つて他の選手が九月四日、プールの水もきれいに取り換へ、氣分を一新して練習を開始した。

此の最後の仕上げとも云ふ可き合宿練習に於いて考へた事は如何にすれば、一同の氣分を一致させそれを徐々に持ち上げて、其の最高點をインターカレッツに持つて行くことが出来るかと云ふ事であり。

インターカレンヂのこわさを経験した選手が、ややもすれば、おぢけつて、優勝の希望をすてはしないかと云ふ心配もあつた、殊に後者は早大軍の全日本に於ける好調と共に一層その可能性があつた。

合宿練習第一日に皆に與へた言葉は、『我々は昨年の轍を再び踏まぬことさへ氣を付けければ、必づ勝てるのだ、勝つ爲に一番必要な事は皆が氣持を合せ、一つの彈丸となつて進むことである。そうすれば誰にも負ける事はない、だから、合宿練習期間に於いては起床、食事、練習、外出、就寝等に付いて何等の規則をも作らぬ、朝の體操、練習開始の時間には各自の精神の一致に依つて、おくれる事のない様にやつてゆきたい。』と云ふ様な意味のことであつた。

四日から十五日迄途中一日の休みを入れて、正味十一日間の合宿練習で、其の間、二日續きで第一週目の金曜土曜、即ち八九日に、大體レースと同じ様な氣持で各人一日、二回づつ記録を取つた、相當の調子ではあるが未だ頂點に達せず、ぐんぐん上つてゐると云ふことを知つて、非常に心強く思つた、之は伯林に於ける、エントリー前の記録會の参考で一日目よりも二日目と記録が上つたことは非常に心強いもので、各選手の記録を簡単に書いて置く。

佐々木(自由形)	50米	26''0
	100 "	58''8
	200 "	2'14''0
林田	100 "	1'00''8
	200 "	2'16''4
	400 "	4'55''2
鷺谷	100 "	1'01''4
	200 "	2'13''4
	400 "	2'50''8
天野	200 "	2'14''6
	400 "	5'51''4
	800 "	9'59''0

栗原	400米	4'56''6
	800 "	10'24''0
越戸	200 "	2'16''0
	400 "	4'57''0
	800 "	10'24''0
谷口(背泳)	50 "	30''6
	100 "	1'08''2
河野	50 "	31''6
	100 "	1'10''0
葉室(平泳)	100 "	1'13''6
	200 "	2'43''2

此の記録に依つて考へられることは、天野の四百米と、葉室の百米、二百米平泳以外はレースに於いて此の記録を出し得なかつたので、天野の四百ととも、レースの前々日八百米の前半四分四十九秒、前日に相當四百近くで流して四分四十八秒と云ふ記録があり、平泳から轉じた林田は見られる通りの好記録を出してゐながら主に長距離の練習ばかりしてゐて未だ短距離の練習が足りず、自分の力を充分出し得なかつた感が強い。背泳の谷口とても長距離の練習中の百米を一分九秒で入るのだから、レースの研究さへ積めばもつと好記録が望めると思ふ。

鷺谷などは八百なども、あの早いピツチで持つて行けるので、レースの最後の方で氣分的に疲れが出て來て二百に於いて失敗してゐる。

今迄の合宿練習を振り返つて見れば、今度の様に規則の無い合宿練習で一番皆の氣持が揃つて、一番規則正しく行はれた合宿練習は一度も経験したことがない。

皆が良くやつて呉れたと云ふことに對しては感謝の言葉もない、私の統制が良かつたとか悪かつたとか云ふ様なことは、問題ではない、此處では皆の心が、優勝に對する希望に對しては一抹の不安を持ちながらも、最後迄も勝たうと云ふ氣持を持ち續け、足並を揃へて、此の覇權獲得に到達し得た感激以外に何物もない。

我々は、此のインターカレッツの練習中、豊田監督よりは一週間一通宛位の激勵、作戰等の指導の御手紙を頂き、戦場の少い餘暇を我々の爲に裂かれた事に對し深く感謝をささげるものである。

最後に、我々に對して、指導激勵を賜はつた先輩諸兄及び水聯學聯の諸氏に深く感謝致して、此の筆を置きます。



# 水 球 雑 感

帝國大學水泳部 川 田 稔

先日或る會社の採用試験を受けた際、何やかやと追求された揚句、副社長と覺しき人から「君は何か運動をやるかね」と尋ねられた。勿論「水球をして居ります」と答へた。然るに「ホー、水球つて何かね」と尋ね返され非常に落膽した。一流會社の重役ともあらう者が水球を知らんとは誠に情無い。一度水球を見れば誰でもその面白さ判り易すさに感心する筈であり、又あらゆる競技中最も優れた團體競技の一つであると信じて居る 斯様に一般化して居ないのは何故であらう。一つの競技が発達することと一般化することとは共に原因であり結果であり、當事者が一般化さぬといつて憤慨するのは變な話であるが、少くとも理解する者がもつと多くてもいいと思ふ。

一般的に理解されないのは確かに淋しいが、水泳關係の人々の間にすら充分に理解されては居ないやうだ。それが疑はしいと思はれる方は是非一度關東學聯の水球を見に来られるがいい。觀衆の大半は當事校の水泳部員であり、全部併せても「衆」と云ふ程集る事は極めて稀れだし、水球委員以外の水聯役員が見に来られたことは全然無いと云つても過言ではない。これは誠に情無い限りである。一體水球は面白くないから一般に興味を持たれないのかそれとも、面白味が判らないからさうなるのか、十分な検討を試る必要を痛感して居る。それに對して自分は次の様な意見を持つて居る。如何なる競技にしても見る者で行ふ者として興味の感じ方は違ふ。實際競技をする者に取つて水球が面白いかどうか考へて見た事がないが考へたつて何所が面白いなんて言ひ表はせるものではない。中學の二年の時からボールを手にして丸九年になるが嘗て一度も面白かつた記憶はない。尤もあまり勝つた事がない故もあるが勝つた時でも面白いとは思はなかつた。而し、見て居る時

は實に面白い。興味の中心はやはり早慶兩校の歴史的抗爭に在るが、その外の試合にしても實力の迫申して居る試合なら充分に楽しめる。(試合をして居る選手には申譯ないが正直な話)何が面白いかと聽かされると返答に困るが、強ひて言ふなら次の二點から興味が湧くと云ふ外はない。一は水球には實力の比較方法が試合以外にない事即ち競泳に於る時間、飛込に於る美的感覺(尤つともこれは審判員の主觀だから精密ではないけれど、相當に正確ではある)の如き萬國共通の尺度がないから、勝敗の豫測が出来ないし、又出来たとしても何の意味もない。(屢々「今年は早大が勝ちますか」なんて質問を受けるが、將に愚問である、これこそ神のみぞ知り給ふの標本である。)

他は、チームワークの如何によつて勝敗が決ると斷言出来る程各選手の技術を超越したチームの和が要求されることである。昔は速力があり、耐久力がありボールテクニクが巧なスタープレーヤが一人居ると、實に眼覺しい活躍をしたものであるが、今日では三部に時折こうしたチームを見る位で、スタープレーヤの存在は、そのチームの他の選手の實力の低い事を表示して居るかの感があり、こうしたチームは全然勝味が無いと思はれる程發達した。七人が宛ら一筋の糸で操られて居るかの様な動きこそ我々の理想とするので、一人でも勝手な行動を取れば、チーム全體の動きが亂れるまでにならなければ、完全なものとは云へない。

春のリーグ戦に於る一部の慶日戦の時など後半の二分位まで慶大はリードされて居たのだから日大がラストに人一踏張り踏張れば、慶大の勝利は甚だ怪しかつたのぢやないかと思はれた。競泳でも試合前に勝敗が完全に豫測し切れるとは云へないが、餘程の過發的な條件變化がない限り、豫測の狂ひは少

い。その點天氣豫報に似て居て、狂へば狂つた原因が、科學的に(數字の上で)立證出来る。水球の豫想は、過去の事實を知り明日の試合の興味を少しく増す位の意味しかありはしない。試合を見る爲には豫想は餘り役に立たない。こう言ふ事は非常に極端な言ひ方と思はれるかもしれないが、この不確實な豫想が見る者よりも選手に一層根強く信ぜられて居るらしく、それが幾分でも鬪争心を鈍らして居るとしたらこれ程水球の發達を阻害するものはないと恐れて居るから敢て言ふのもある。更に極端な言ひ方を許されるならば、スクールカラーを無視して、單に青と白とが試合をして居るとして、青なり白なりのチームとしての動きの良さ悪さ、及びそれを基礎付けるパスの正確さと出足の良さ、感の良さに注意して見たら水球が独自の面白味を持つて居る事が理解出来るのではなからうか。水球のチームは産業組合の様でもある一つのチームは特定の七名の選手から成立つて居る。現在では典型的なものは慶大チームのみであり、これこそ慶大チームの根本的な強みである。名取は小柄な敏活な動き振りで常に B. W. と F. W. の間に位置して泳いで居るが、このチームから彼を取り除けば現在このチームが持つ一番確實なフオンメーション(B. W. より名取、松本和田への送球)が出来なくなる。この送球経路は可成り以前から我々に知れて居乍ら、今尙破り得ぬ強味を持つて居る。その名取を假に東大に持つて來たとしたらどんなものであらう。恐らく東大 F. W. 陣は彼の動きによつて攪亂されるに違ひない。今の所慶大に於ても F. W. の和田、名取、松本の三名は、確かは特定性を持つて居るが、B. W. に於てはしばしばメンバーの變更を見る。個人的には何等甲乙のない選手を多數有し乍ら、チームとしては、常に特定の七八名を用ひ、それ以外に編成の變化を作り得ないまでに慶大チームは完成したものと見ても宜からう。

残念乍ら、今の所、これまでに完成したチームは慶大以外には全然ない。將來このやうなチームが二つとなり三つとなるならば水球は益々面白いものになるに違ひない。その時になつてまだ水球の興味を理解しない者があればしない方が悪い。

偕、現在の水球界を顧ると完成したチームを作り得る可能性のあるものは、僅かに明大と立大のみである。或は七年制高校の中にもあるかもしれないが今のまゝの行き方では無理かと思ふ。何故明大と立

大に望みを掛けるかと云ふと、完全な水球チームが特定個人七名により編成されるとする自分の考へが認められるなら、水球は早く競泳から獨立する事が必要であり、明大と立大がそれを敢行したからであり嘗ては速力があり水に強い競泳プロパーの選手が球に馴れば、水球選手として十分活躍出來たから水球は競泳と不可分の關係にあつた。併し今や、水球は一步進んで、一人のスタープレーヤーの活躍よりも七人の競技者が、各自技術の差が超越して、一つに纏る事を要求し出したのであるから、水球競技者としては常に自分をチームの一員としてのみ意識出来る様な人である事を必要とするし、又競泳の傍水球をするのでは時間的にも肉體的にも精神的にもチームの完成は覺束ない。

慶大の名取が松本にパスする時の巧味が、名取から和田に送る時のパスに見られないのは、誠に不思議な現象であり、松本は、和田の注文に適中した様なパスを屢々送つて居るが、之こそ、彼等の眞價がチームの一員として如何に良く發揮されて居るかを示すもので、競泳と掛持ちで練習して居る間はかかる境地に到達する事は不可能である。亦僅か一年や二年で行き着き得るものでもない。故に豫科を持つ大學か七年制高校以外に此期待が出来なくもなる。

不幸にして、明大、立大共に去年今年と不成績だつたそれは從來水球をして居た選手の大半を競泳に残し、新人をして編成した當然の結果であつて、將來の大成の前には何等悲む可きものではない。水球獨立の傾向は今後も第三第四の慶大チームを生み出す事であらう。此を水球革命と呼ぶならば水球革命の成功は水球に新しい發展を齎すのみならず、寧ろ飛込の發達と相俟つて眞の水泳日本を建設する動機となるであらう。

以上の様な競技者側の問題で併行して、水球の興味を左右するものに審判技術の問題がある。併しこの方は、既に昨年末より審判委員會の設立を見、着々解決されつゝあり我々は何も言ふ可きではない。

支那事變の進展に伴ふ皮革、護謨製品の配給統制に依り試合練習に障害を蒙り、第二次歐洲大戰の勃發により今や全くオリンピック出場の望を失ひ、獨逸選手招聘の夢破れ隣國に好敵なく完全に孤立の狀態に進まねばならぬ水球の前途は正に暗澹たるものがある。我々が今にして水球獨立の基礎を固めぬ限りかかる難局の突破は極めてむづかしいと思ふ。

# 水泳プール用消毒劑としての硫酸銅に就いて

静岡縣立濱松第一中學校

朝倉 靜生

## 1. 水の腐敗の意義

プールに入れた水は日が経に従つてプランクトン・アオミドロが発生し漸次緑色不透明となる。此の緑變の水を腐敗と見做すことにする。公開プールと異なり學校プールは水泳者が生徒故に、何れも健康體で病原菌に對しては左程懸念する必要がない。

## 2. 消毒劑としての漂白粉と硫酸銅

手軽に用ひられる消毒劑として従來漂色粉が普及して居たが最近硫酸銅が之れに代り始めた。次の比較表を見るとその理由がわかる。

## 3. 硫酸銅の溶解法

水の緑變が或る程度に進行してから消毒劑を入れることが一般に行はれて居るが之は無効であつて、

謂赤線を見出し度いと努力して居る。

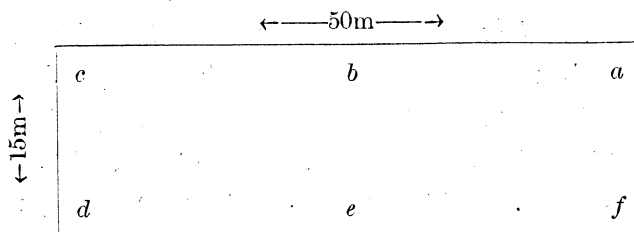
(a) pH の測定——pH の個々の正確な値夫れ自身よりも日々の變化の模様の方が知り度いと、將來生徒にこの測定を行はせる方が教育的であるとの考から、化學を不得意とする生徒にでも容易に出来る様な簡単な實驗法を採用したことをお断りして置く、普通大の平底試験管(35 cc) 6本の各に次圖の a より f に至る 6 所から表面水を 10 cc 位づとり、之にクレソールレッド 1 試験紙 1 枚づを投入して振盪し、試験紙の色素が水中に溶解終るを度として紙をとり出し、各管内の液の色を水素イオン濃度試験紙標準變色表の印刷色と比較して各の pH を決定する。この平均値を第 1 表に示した。

	漂 白 粉	酸 硫 銅
1. 殺 菌 力	強 大	強 大
2. プランクトン・アオミドロ 発生防止力	極めて小	相當に大
3. 人 體 へ の 影 響	不溶解残渣が眼を刺戟充血せしめ眼の故障を起し易い 不快に臭氣が鼻を刺戟する	何等の影響がない (百萬分の30位になつて始めて影響が現はれ出す)
4. 分 量	多量を要する	少量(百萬分の 1)で有效
5. 保 孝 性	不安定で保存中に有效鹽素が逸散し易い	極めて安定で長期保存が出来る

最初水を入れるとき同時に溶かし込むことが必要である。濃度は百萬分の 1 位でよいことである。分子量から計算すると結晶硫酸銅 1.56 グラムが無水硫酸銅 1 グラムに相當するから、水 1 立方メートルにつき結晶を 1.56 グラムの割合に溶かすと所要濃度となる。但しかく僅少量の藥品を莫大な容積のプールに均一に溶かすには、出来るだけ長時間かゝつて溶かす工夫を要す。水が入るに要する時間と硫酸銅が溶けるに要する時間とが略等しくなれば理想である。一案として私は木綿 5, 6 枚を重ねて作つた袋に大きな結晶を入れ、之を水の入る口に吊と下げて溶かして居るが理想にはまだ距離がある。膀胱を利用して見たならばと考へて居る。本校のプールは長さ 50 米、巾 15 米、容量 1100 立方メートルの公認プールで水道の水を充すのに 15 乃至 20 時間を要す。

## 4. プール表面水の水素イオン濃度變化測定による水の腐敗診断並びに其の治療

體温が37度の赤線より高いか低いかによつて身體の工合を先ず診断する。之と同様な診断法が水の腐敗の場合にもないであらうか。私は昨年夏以來毎朝 7 時にプール表面水の水素イオン濃度即ち pH 値を測定して水の緑變との關係に注意し、この方面で所



(b) 水の腐敗診断——第 1 表に依つて pH の變化状態を圖示すると第 1 圖第 2 圖が出来る。何れの場合も太線で綠變部を示す。クレソールレッド試験紙では pH 9 以上は測れぬ上に、この程度になると綠變も極端となり使用に堪へさうもない。第 1 圖からは pH が 8、第 2 圖からは 8.5 が所謂赤線(私は之れを腐敗線と命名し度いと)に當らしく判断せられる。

(c) pH と水温及氣温との相關——氣温水温の高い 7, 8, 9 月には腐敗線が pH 8、夫等の低い 4, 5, 6 月には 8.5 になりそうに思はれる。そこで第 1 表から相關係数を算出すると次表の様になる。相關係數 +1 は完全な一致、-1 は完全な不一致、0 は無關係を示すのであるから實驗の結果は次の様に解釋すべきである。pH と氣温とは大した關

第 1 表

日数	12年 至9.1 自8.13	12年 至9.24 自9.5	13年 至5.28 自4.27			13年 至7.9 自6.11			13年 至7.25 自7.19		
	pH	pH	pH	水温	気温	pH	水温	気温	pH	水温	気温
1		7.20	7.47	15.5	15.5	7.00	20.0	24.0	7.13	21.5	27.5
2		7.20	7.52	16.0	15.5	7.30	22.0	22.0	7.13	25.5	28.5
3		7.20	7.63	17.0	19.5	7.40	22.0	23.5	7.30	27.5	28.0
4	7.30	7.63●	7.78●	18.0	19.0	7.67	22.5	22.5	7.70●	29.0	28.5
5		7.63	7.98	18.5	17.5	7.85	23.0	24.5	8.05●	30.0	29.5
6	7.82	7.65	8.07	20.0	19.5	8.05	23.0	21.5	8.30●	29.0	26.0
7		8.05	8.07	19.5	20.0	8.12	23.0	20.0	8.17●	29.0	25.0
8	8.57	7.97	8.08	19.5	19.5	8.12▲	22.5	20.0			
9	8.75	8.05●	8.18	19.5	19.5	8.12▲	23.0	19.5			
10	8.80	7.75				8.10	24.0	19.5			
11		7.85				8.15	23.0	20.0			
12	8.33	7.95				8.20	23.5	23.0			
13	8.40	7.74	8.27	18.0	14.0	8.20	24.0	21.5			
14	8.50	8.00	8.10	18.0	15.5	8.10	24.5	22.5			
15	8.60	8.05	8.10●	18.5	15.0	8.30	23.5	23.5			
16	8.63	7.95	7.90	19.5	17.0	8.38	25.0	23.5			
17		7.91●	8.00	20.0	16.0	8.35	25.0	23.5			
18	8.90	8.15▲	8.05	20.5	17.0	8.40	26.0	21.0			
19	8.60	8.35	8.10	22.0	18.5	8.42	25.0	22.5			
20	9.00	9.00	8.30	21.5	17.0	8.40	24.5	23.5	1		
21			8.30	20.5	19.0	8.50	25.5	2.30			
22			8.47	21.5	22.5	8.58	25.5	22.0			
23			8.52	21.0	18.0						
24			8.53	20.0	16.5	8.55	24.5	25.0			
25			8.55	20.5	15.0	8.80	25.0	25.0			
26			8.90	21.5	16.0	8.90●	25.5	25.0			
27			8.70	21.5	16.0	8.48	26.5	24.0			
28			8.73	20.5	18.0	8.60	27.0	25.5			
29			8.80	21.5	20.0	8.77	27.5	23.5			
30			9.00●	22.5	20.0						
31			8.75								

備考 ●水及硫酸銅追加 ▲水ノミ追加

	4,5月	6,7月	7月
pH と水温との相関係数	0.8	0.9	0.8
pH と気温との相関係数	0.3	0.4	0.3(負)

係はないが、pH と水温とは極めて関係深く水温が高い程pHは大となり、緑變に甚だしくなることになる。因に温度は1ヶ所aのみで測つた値である。

(d) 水の治療——既に緑變した水に又は緑變し始めた水否寧ろ緑變が未だ肉眼では解らぬ水に、適量の水と之に相應する硫酸銅とを入れてpH値を小

さくし緑變をなくし又は防ぐことを治療と稱することにする。水のみを入れた實驗では3回とも治療効果なく硫酸銅による治療は10回中6まで成功して居ることが第1及第2圖から明瞭である。

### 5. 水の經濟的使用

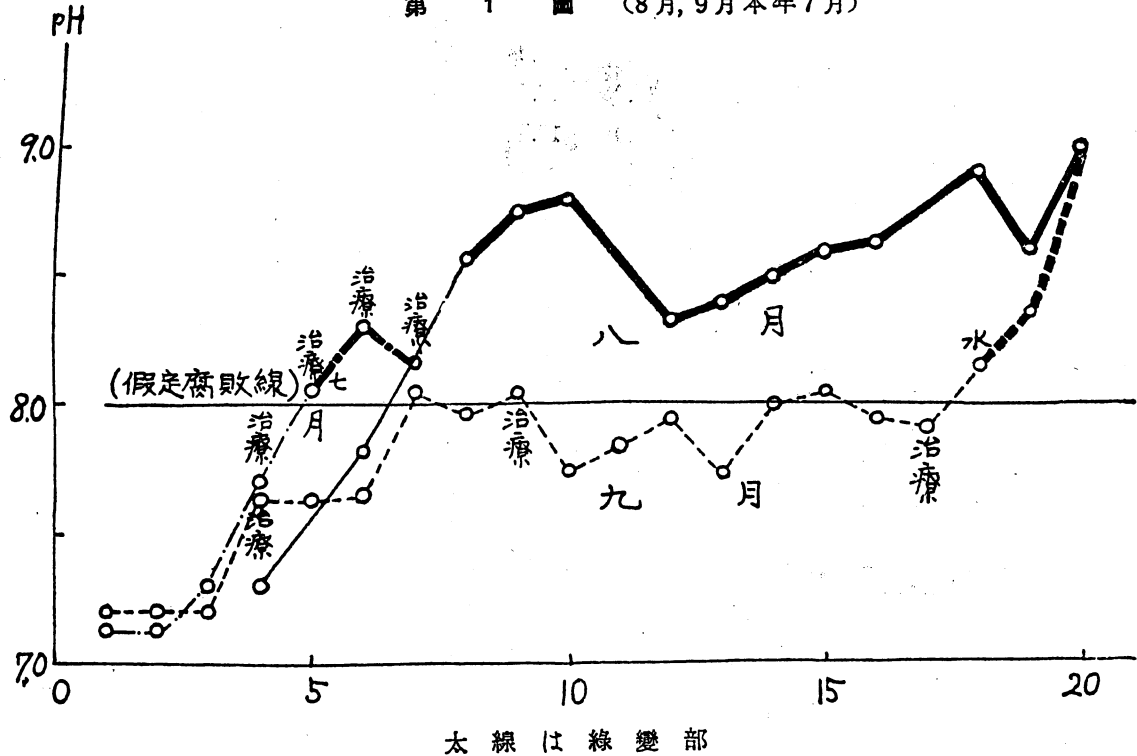
井戸水は一般にpHが小さく水道の水よりも長持をする。本校の過去の經驗では水道水では入水3日目乃至4日目には緑變したものである。井戸水では1週間乃至10日間位はもつとのことである。以上は何れも水温の低い季節であつて夏は一層早く緑變する。本校のプールでは1杯水を充すと38圓か

る。神宮 プールでは 200 圓かゝるとの記事を見た昨年 8 月の水の使用に就ては私は全く関係せず只 pH を測つたのみであるが 9 月以降私が前述の様な使用法によつて非常な節約が出来た。此の事實は第 2 表により判然する。

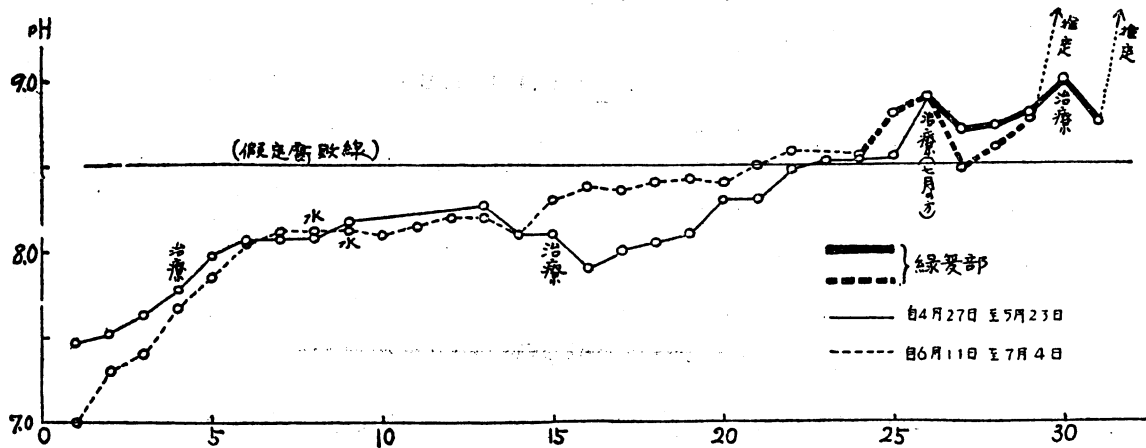
### 6. 今後の研究

雨水が入ると腐敗が一般に言はれて居る如く速進されるかどうか私の過去の調査では未だ疑はしい點がある。腐敗診断及び治療にしても未だ結論に到達した譯ではなく或程度の暗示を得たに過ぎぬ。引つゞいて調べて結論を出してみたい。

第 1 圖 (8月, 9月本年7月)



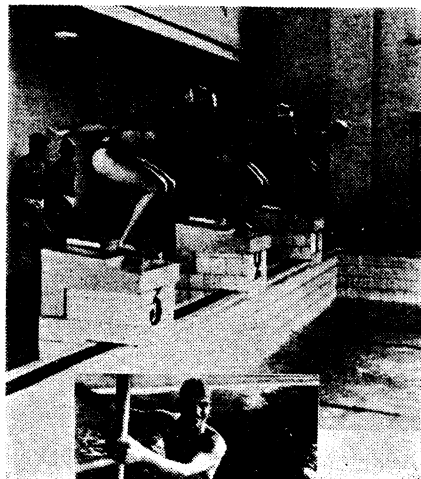
第 2 圖 (4, 5月及 6, 7月)



(第 2 表) \*最初の 1000 立方米は 36 圓、超過分は毎 1 立方米 2 錢

	線變までの日數	使用日數	使用水量	使用水料金*	消毒劑分量	備 考
8 月	7 日	20 日	7000立方米	156圓	45.0キログラム	漂白粉を毎日水に入れる
9 月	17 日	20 日	1500	46	2.5	體操を全部永泳とす
4, 5 月	25 日	31 日	1500	46	2.3	
6, 7 月	23 日	30 日	1400	44	2.1	
7 月	4 日	7 日	1724	50	2.7	1 年生全員上級生有志毎日水泳

カトはソ聯の室内競技會  
下は平泳の雄 Semyon Boichenko (ボフチ  
エンコ) 100m 1:09.6 200m 2:36.2



## ○本年度前半期世界新記録

八月一日和蘭デーテンケムに於て行はれたホルテイ杯争奪、水球歐洲選手權大會に歐洲各國が集合したのを機會にFINA理事會が開催せられ左記世界新記録が公認せられた本欄の既報告事項を重複する部分もあるが公認を機會として茲に一括して列挙する事とした。

### 五百碼

五百碼自由形	フラナガン(米)	5:56.5
四月三日	マイアミビーチ	二五碼
四百碼繼泳	紐育體育俱樂部(米)	3:31.3
	(デルモット、レイリー、フィツク、スペンス)	
三月三十一日	コロンバス	二五碼
百碼平泳	スキナー(米)	1:02.1
一月十四日	ニユウハーヴェン	二五碼
同	ハウ(米)	1:00.5
六月十五日	ニユウハーヴェン	二五碼
百米平泳	ハウ(米)	1:07.3
四月十五日	ニユウハーヴェン	二五碼
二百碼平泳	ハウ(米)	2:22.0
三月二十五日	アンアーバー	二五碼
五百米平泳	ハイナ(獨)	7:13.0
五月七日	オーリツヒ	二五碼
百碼背泳	キーファー	58.8
四月一日	コロンバス	二五碼

### ○女子

百碼自由形	ベーガー(丁)	59.7
二月十九日	アーフス	二五碼
五百米自由形	ベーガー	6:34.3 (鹽水)
二月二十四日	コペンハーゲン	二五碼
四百碼繼泳	丁抹體育協會	4:08.1
	(オベペーテルセン姉妹、エンセン、ミケルセン)	
四月三十日	コペンハーゲン	二五碼
百碼平泳	デラード(米)	1:16.6
四月十五日	デットロイト	二五碼
二百碼平泳	ヴァールベルク(蘭)	2:40.3
七月十三日	アムステルダム	二五碼
四百米平泳	セーレンセン(丁)	6:16.2
一月十八日	コペンハーゲン	三五碼

## 小山賢之助

五百米平泳 ケルヒホーベ(白) 8:01.6 鹽水  
一月二十五日 オステンド 二五碼  
同 セーレンセン(丁) 7:58.8 鹽水  
二月二十六日 コペンハーゲン 二五碼  
二百米背泳 フェゲレン(蘭) 2:39.0

十二月十八日(昨年)アムステルダム 二五碼

右の中百碼平泳(男女)及び百碼背泳、男女四百碼繼泳は先年の代表委員會で設けられた新種目で今年の記録から始めて公認せられたもので、夫以前に優秀な記録があつても公認せられない、現に百碼背泳には昭和十一年にキーファーの作つた 57.8 がある。恰も四百米繼泳に於て我國で米國チームの作つた 3:53.8 が公認とならず昨年米國チームが歐洲遠征で作つた 3:59.2 が公認せられて居るのと同様である。

又ヴェーガー嬢が二百二十碼に 2:22.6 の世界新記録を出した事は本誌六十五號で報告したが此の時のプールは二十五米プールの二十五碼に改装したものでその改装の際にスタート臺が水泳池の他の壁面よりも高くなつて居たといふ理由の下にFINAではその公認を拒否した。

## ○競泳界の新脅威、ユーゴスラビア

一時歐洲競泳界を風靡した洪牙利もバラニー去りハラツシイ老い。チツク勇退して新興獨逸獨り歐洲水泳界を席捲せんとする時忽然として之を脅威する新興競泳國が現はれたユーゴスラビア之である。

七月二十九日三十兩日リガの五十米プールに於て行はれたGUCとビクトリア俱樂部對抗戦に於て、右の如き優秀記録を獲た。

### ○百米自由形

1. イボ・スタクラ	1:01.7
2. ラヴロ・スタクラ	1:01.8

### 二百米自由形

1. デイフィリビス	2:14.0
------------	--------

### 四百米自由形

1. シーセツク	4:46.4(歐洲新)
2. デイフィリビス	4:51.2

### 百米背泳

1. シガノヴィツク	1:14.5
------------	--------

### 二百米平泳

1. エルキニツク	2:49.8
-----------	--------

右の申シーセツクの四百米自由形四分四十六秒四は本年度



世界最高記録であるのみならず、佛蘭西のジャン・タリスの保持する歐洲記録四分四十七秒〇を破る歐洲新記録である。

又洪牙利の水泳俱樂部中最強チームたるU J Cは獨逸佛蘭西伊太利の各國を歴訪し相當の好成績を獲て八月下旬ユーゴスラビアに入り前記I U Gとラグザに於て又シュザツクに於てビクトリアクラブと夫々對抗戦を行つたが左の戦績を以つて一敗地にまみれた。

#### 對I U G戦

##### 百米自由形

1. スタクラ(ユゴ) 1:01.6
2. ツオルミー(洪) 1:01.8

##### 四百米自由形

1. シーセツク(ユゴ) 4:49.2
2. ケレシー(洪) 5:08.0

##### 千五百米自由形

1. シーセツク(ユゴ) 21:12.8
2. ガランボス(洪) 21:40.3

##### 百米背泳

1. シガノヱイツク(ユゴ) 1:11.3
2. ガランボス(洪) 1:13.0

##### 二百米平泳

1. アンギル(洪) 2:46.0(洪新)
2. バリニイ(ユゴ) 2:56.6

##### 八百米繼泳

1. I U G 9:36.6
2. U J C 9:52.2

##### 二百米背泳

1. ガランボス(洪) 2:46.0
2. マレシ(ユゴ) 2:48.0

#### 對ビクトリア俱樂部戦

##### 百米自由形

1. クルテイリ(ユゴ) 1:01.1
2. ツオルミー(洪) 1:01.6

##### 二百米平泳

1. アンギル(洪) 2:45.9(洪新)
2. エルキニツク(ユゴ) 2:48.7

##### 百米背泳

1. ガランボス(洪) 1:13.6
2. ビドアール(ユゴ) 1:15.7

##### 四百米自由形

1. ポトクナツク(ユゴ) 5:05.3
2. キルテイリ(ユゴ) 5:19.0

##### 八百米繼泳

1. ビクトリア 9:35.0
2. U J C 9:55.1

洪牙制御自慢の水球もI U Gに二對三、ビクトリアに二對四で何れもU J Cの敗北に終つた。

ユーゴスラビアの擡頭は注目値する。

#### ○獨英對抗競技

##### バルケ、二百米平泳に 2:40.4

英獨對抗水泳大會は八月五日エルフルトに於て行はれたが六十五對三十五で獨逸の勝に歸した。一着記録左の通り。

男子百米自由形	フィツシア(獨)	59.4
二百米自由形	ケーニンガー(獨)	2:18.6
四百米 "	ケーニンガー(獨)	4:57.4
千五百米 "	アーレント(獨)	20:16.0
百米背泳	シュラウフ(獨)	1:09.0
二百米平泳	バルケ(獨)	2:40.4
ラツプタイム 百	1:14.5	百五十 1:57.0

八百米繼泳 獨逸チーム(シュレーダー、ラスコフスキー、アーレント、ケーニンガー) 9:17.9

三百米混繼泳 獨逸チーム 3:25.4

飛板飛込 ヴァイス 155.01

高飛込 ヴァイス 125.80

女子百米自由形 ハロウビイ(英) 1:08.2

" 二百米 " シュミツツ(獨) 2:33.1

" 四百米 " ハットン(英) 5:51.0

" 百米背泳 ヴェーバー(獨) 1:18.5

" 二百米平泳 ストレイ(英) 3:07.1

" 四百米繼泳 獨逸チーム 4:40.5

" 三百米混繼泳 英國チーム 3:51.8

" 飛板飛込 ダウマーラング[獨] 113.44

" 高飛込 エツクシュタイン(獨) 37.43

水球 獨逸 5-1 英國

右の中バルケの二分四十秒四は葉室のそれと共に長水路世界最高記録であり、フィツシアの五十九秒四、シュラウフの一分九秒共に世界の第一線に位する。此の外番外二百米平泳に於て、ハイナは二分四十二秒九、ゴルトは二分四十六秒四の好記録を出した。ゴルトは本年十七歳の少年である。

又女子に於て獨逸のウェバーは三百米混繼泳の第一泳者として百米背泳の正式計時に一分十七秒九の獨逸新記録を作つた。

女子飛板飛込に於て英國のスレイドは昨年歐洲選手權を獲得し歐洲女子飛込界の第一人者として自他共に許す所であつたが、ダウマーラングの爲に惜敗した。獨逸ではダウマーラングの成功に飛込では男女共に優勝の可能性ありと誇つて居る。

#### ○獨佛對抗水泳大會

八月十二、三兩日ミュンヘンのダンテスタデイオンに於て獨佛對抗水上競技大會が行はれたが五十四對十八で獨逸の全勝に歸した。當日の本競技及びエクスジビションの中注目すべき好記録を収録すれば左の通りである。

百米平泳	1. アンギル(洪)	1:09.5(世界對)
	2. バルケ(獨)	1:11.5

洪牙利のアンギルは恐らく百米平泳に於ては世界第一人者であらう。後は此種目に於ては不敗の記録を誇つてゐる、五十米の長水路で一分九秒五とは實に驚くの外はない。我葉室君も伯林オリンピック後洪牙利に遠征して此種目に於てアンギルの爲に一敗してゐる。バルケも亦アンギルの爲に一敗したわけである。葉室君のインターカレッヂに於ける 1:12.4 も此二者に比較すると残念乍ら見劣がする。「伯林オリンピック以來バルケが外國人に破れたのは之が始めてあつてアンギルは敵ながら天晴な強さだ」とシュヴイムマー編輯子が賞めちぎつてゐる。

二百米平泳	バルケ(獨)	2:40.8
-------	--------	--------

バルケは之で二分四十秒臺を三回出してゐる。葉室君の強敵として不足はない。オリンピックは解消しても是非此の二人の爭覇を見せて貰ひ度いといふのは豈筆者一人のみであらうか。

百米背泳	1. シュラウフ	1:09.4
	2. シュレーダー	1:10.0

シュレーダーも亦ヒットラーユーゲントの一人、一九四四年のオリンピックにも間に合ふといふ年少選手で自由形にも百米に六十秒八、二百米に二分二十秒〇の記録を持つ新進である。

飛板飛込	ヴァイス	159.62
高飛込	ヴァイス	127.56

### ○全英選手権大會の好記録

全英選手権大會は七月十九、二十日メインヘッドの五十碼鹽水プールで行はれたが、ウェインライトは左の如き好記録を作つた。

二百二十碼	2:14.4
四百四十碼	4:52.6

英獨對抗に同君の出場無かりしは英獨二國のみならず日本の我々も亦大いに遺憾とする所である。

### ○英丁對抗競技

英國對丁抹水上競技大會は、歐洲の風雲急を告ぐる八月十九、二十日兩日英京倫敦ウェムブリー五十米プールに於て行はれた。先に獨逸チームの爲に一敗地にまみれた英國チームは男子自由形のホープ、ウェインライトを起用するなどベストチームを編成して丁抹軍を迎へ打ち、飛込競技に斷然三對一とリードして結局九對七の接戦を以つて丁抹を撃破した。

競技中の最もスリルに富んだ試合は女子二百米平泳であつた。セーレンセン(丁)とストーレイ(英)のデュアルミートは果然猛烈なるせり合ひとなり、最後の數米迄兩者相譲らず歐洲稀に見るデッドヒートを展開した。結局ゴール前數米でストーレイ辛くも頭だけリードして歐洲選手権保持者セーレンセンの惜敗、茲に英丁對抗競技勝敗の歸趨は定つたので

あつた。ストーレイの記録三分三秒四は彼女自身の最高記録であつて長水路記録として堂々たるものである。彼女は英獨對抗に三分二秒二の記録を有する獨逸のシュミットと戦つて之を破り、今又全歐選手権保持者セーレンセンを撃破して不敗の記録を誇つてゐる、和蘭のワールベルグが試合に弱く單なるレコードメイカーであるに對してストーレイは試合に強くウィナーと稱して差支へあるまい。

女子自由形に於てはヴェーガー嬢依然たる大豪の強味を見せたが、男子自由形に於てはウェインライト意外に振はざるに反し、丁抹の新人ウルフテ五百米の途中千米に於て一三分五十五秒八の丁抹新記録を樹立して萬丈の氣を吐いた。記録左の如し。

○男子(レベルは低い)

百米自由形	1. ドーヴ(英)	62.0
	2. クリステンセン(丁)	62.8
四百米自由形	1. ベーテルセン(丁)	5:14.2
	2. ウェインライト(英)	5:18.6

全英選手権大會四百四十碼に四分五十二秒六を記録したウェインライトも其後練習不足の爲、敢なくベーテルセンに名をなさしめた。

千五百米自由形	1. ウルフ(丁)	21:05.4
	2. ウェインライト(英)	

スキミングタイムズ報に依ればウルフ 19:41.8、ウェインライト 21:17.6 と記録してあるが、千米十三分五十五秒八では到底かかる記録の出せる筈がなく、四百米自由形の結果より見てハンドレーの右のタイムを採用した。後報を待つ次第である。

百米背泳	1. ゼームズ(英)	1:15.6
	2. クリステンセン(丁)	1:21.0
二百米平泳	1. デイヴィス(英)	2:51.4
	2. エンセン(丁)	2:59.6

デイヴィスはバタフライである。

四百米繼泳	1. 英國	4:13.4
高飛込	1. クリシチアンセン(丁)	111.38
	2. トマリン(英)	108.30
飛板飛込	1. ジョンソン(英)	136.01
	2. クリシチアンセン(丁)	129.00

水球 英國 5 — 2 丁抹

○女子(男子と異り世界一流である)

百米自由形	1. ヴェーガー(丁)	1:06.8
	2. ハロウビー(英)	1:09.6
四百米自由形	1. ヴェーガー(丁)	5:12.6
	2. ハットン(英)	5:52.8
百米背泳	1. ヴェーガー(丁)	1:17.4
	2. ロウク(英)	1:19.0

不振の丁抹陣營に在つて孤軍奮闘善く丁抹の爲に貴重なる三點を得たヴェーガーの強味は絶讚に値する。然かも三種目

共に相當の好記録で優勝毎に「ブラーボー、ヴェーガー」の聲は敵味方の區別なくウエムブリノブルに轟き渡るのであつた。

二百米平泳	1. ストーレイ(英)	3 : 03.4
	2. セーレンセン(丁)	3 : 03.6
四百米繼泳	丁 抹	4 : 35.2
高飛込	1. スレード(英)	38.97
	2. バイケン(丁)	36.71
飛板飛込	1. スレイド(英)	

### ○全歐インターカレッヂ水上競技

全歐インターカレッヂ水上競技大會は八月モナコに於て行はれた。佛蘭西よりの正式報告未着の爲コンディションは不明であるが左記の通り歐洲としては相當の好成績で結局フランスの優勝する所となつた。優勝者左の通り。

百米自由形	テイラー(英)	60.1
四百米自由形	バラード(佛)	4 : 57.3
千五百米自由形	バラード(佛)	20 : 38.2
百米背泳	ヘック(和蘭)	1 : 09.1
二百米平泳	ナカシエ(佛)	2 : 51.0
八百米繼泳	佛蘭西(モネット、ラムバー、バラード、ナカシエ)	9 : 38.4

### ○全歐水球選手権ホルテイ杯争奪戦

ロサンゼルス以來男子競泳といへば日本、水球といへば洪牙利と相場がきまつて居るが、競泳の方は依然日本が漸然たる強味を示し日本の競技會に就ては本年世界最高記録が屢々アナウンスせられてその王座は微動だにしないが、水球の王座は既報の如く本年五月獨逸の爲に脅かされ洪牙利辛くも之を死守したのであつたが、遂に八月一日全歐水球選手権大會に於て前半一対〇とリードせる洪牙利が後半〇対二と拙戦して結局一対二で獨逸の軍門に降り一九二八年アスステルダム大會以來十一年間洪牙利の確保した水球の王座は宿敵獨逸の掌握する所となつた。

本年度の歐洲水球順位は結局左の通りである。

1. 獨逸	評點 九	得點 一九	失點 一三
2. 洪牙利	八	一六	八
3. 伊太利	六	一八	一四
4. 白耳義	四	一六	一七
5. 和蘭	二	一四	一九
6. 佛蘭西	一	六	一八

ホルテイ杯争奪戦はリーグ戦とし勝二點引分一點の評點を與へ最高評點を得たるチームを優勝とし、同點の場合は平均得點の多いものを上位とするのである、獨逸の優勝の他注目すべきは伊太利の擡頭である、一九三六年伯林オリンピック大會は伊太利は歐洲水球上位六ヶ國にすらシートされず従つてクレベルス杯、或ひはホルテイ杯争奪リーグ戦に参加し得なかつたが一九三八年全歐選手権大會に第六位を獲得し本年始めて本リーグ戦にデビューした。然るに伊太利はこの初陣に

強剛獨逸及び白耳義と引分け、洪牙利に一敗したのみで評點六點を獲得し第三位に躍進した。獨伊の目覺しい善闘には夫々努力が拂はれた事であらうが、國際試合の多い歐洲に在る事がその強味を形成する主たる原動力を爲してゐる事は否み難い對外試合殆んど不可能の我國と比較して羨望に堪えない次第である。

洪牙利では此敗戦にいたく發奮し新たに年少選手を基幹とする新ナショナルチームを編成した。有名な片足選手ハラツシイは勇退を聲明し、ハラツシイ無き後の洪牙利ナショナルチームがユーゴスラビアチームをブタベストに迎へて凱袖一觸に之を粉碎するを見て淋しく微笑したといふ、「彼の胸中や如何」とでも言ひ度い所である。

ハラツシイについて憶ひ起されるのは一九二七年伊太利ボローナに於ける第三回全歐選手権大會の事である。當時ハラツシイを主力とする洪牙利チームは斬新なるテクニクと巧妙なるテクニクを以て水球界に出現し、一九二六年巴里オリンピックの優勝チーム佛蘭西を對抗競技に於て粉碎したのを手始めに歐洲水球界を席捲し、虎視眈々全歐覇權樹立に向つて精進し、此大會に於て名實共に水球の王座を獲得したのもつた。之に對し凄ましい抵抗を示したのは獨逸チーム及瑞典チームの雄アルネボルグであつた。

### ○全米室外選手権大會

全米男子室外選手権大會は八月廿五、六、七の三日間デットロイト長水路プールに於て行はれ、その結果は當時各新聞紙の報ずる通りであつたが、次様のに豫選決勝を通じての最高記録を掲げる。

百米自由形	廣瀬 隆	59.8
二百二十碼自由形	仲間 清	2 : 16.0
四百四十碼自由形	フラナガン	4 : 49.9
八百八十碼自由形	フラナガン	10 : 11.9
一哩自由形	フラナガン	21 : 00.7
百米背泳	キープアー	1 : 06.6
二百二十碼平泳	スキナー	2 : 46.6(米長水新)
三百米個人メドレー	キープアー	4 : 02.2
三百米混繼泳	デットロイトAC	3 : 22.2
八百八十碼繼泳	サレキササンダーチーム	9 : 21.0

### ○結 語

本年の海外情報は一應以上を以て打切りとする。次號の記録倍大號には世界二十傑を發表する豫定である。オリンピックは解消したとしても現在日本の持つ強味を保持し、之を發展せしめ常に世界最強の地位に在らしめんが爲には海外情報を完全に蒐集し、彼我の實力を常に衡量し新なる目標を指示して行かねばならない。戦争の爲に益々困難なるべき情報蒐集に一段と馬力をかける覺悟である。愛讀者諸兄姉の御後援をお願いする所以である。

(以上)

# 昭和十四年度水泳指導者講習會大阪ノ部報告

日本水上競技聯盟 渡 邊 延

東京ニ於ケル講習會狀況ハ前々66號所載ノ通りニシテココニハ大阪ニ於ケルモノヲ採録ス

## 概況

本年度甲子園會場ニ於ケル講習會ハ會員三十名ニシテ當初ノ豫定ト比シ遠シト雖モ講習者一同非常ニ熱心ニ講習ヲ受ケ最初ノ試トシテハ非常ニ成功ナリシト考ヘラレル。

一、講習會期日 昭和十四年七月六日ヨリ十二日マデー週間

## 二、講習科目並ニ講師

一、水泳汎論	藤井正太郎
	杉本傳
	中尾保
二、標準泳法	關清一郎
	中尾保
	藤井正太郎
	今田四郎
	牛木宇平治
三、競泳法	小林高志
	高石勝男
	石田恒信
	上田治
	牧野正藏
	木下善一
四、水球	上野克巳
	新間六炳
五、飛込競技	小林一男
	西尾太一
六、水泳醫事	藤井正太郎
	深山梟
七、救助法	松本楢雄

## 八、水泳豫備運動

木下善一

## 三、講習員

岡野史郎	和田好作	吉澤義竹
宮本正雄	杉本切	池龜春一
川南克子	麥島靜江	大石義雄
岡山勝治	鈴木薰	山本忠雄
川村市兵衛	深海小太郎	高田省三
山本良文	藤井惠美	和田和子
荒一雄	宮本慶作	太田得爾
西田耕三	窪田弘道	今谷正晴
香西重雄	石丸重之	水谷審一
覺井	小田主税	志賀福太郎

## 四、講習終了者 (二八名)

麥島及大石不參(東京ニ於テ受講)

昭和十四年度水泳指導者資格檢定大阪ノ部報告

一、日時 七月十三日及十四日

二、場所 大阪甲子園水泳場

三、受檢者

岡野史郎以下十八名

## 四、及第者氏名(十六名)

岡野史郎	川南克子	岡山勝治
鈴木馨	山本忠雄	川村市兵衛
深海小太郎	藤井惠美	和田和子
太田得爾	西田耕三	窪田弘道
今谷正晴	香西重男	石丸重之
荒一雄		

試験ハ實技ヲ主トシ猶左記ニツイテ簡單ナル筆記試験ヲ行ヘリ。

イ 救助法      ロ 水球      ハ 標準泳法  
ニ 初心者指導法      ホ 水泳醫事  
(終り)

## ゴシツプ三題

☆日本學生水上競技聯盟名譽主事の藤田明氏は自宅を茅ヶ崎の遠隔に持ち勤

務先は鶴見、其間の餘暇を見ては學聯の諸事務をとると云ふ精力的に無軌道振り、夏の急がしい一夜遅く迄聯盟事務所に(どうかと思ふね?) 過ごし帰宅の途に就き乍ら車中に一睡す、もう茅ヶ崎かと目がさめた時は遅かりし由良之助、正に静岡市なり、後日に至り藤田氏曰く、「先夜歸途、車中寝過ぎて静岡市迄行つちやつたよ、だけれど僕の友人に東京から大阪迄知らずに寝過ごした男もあるからね」

とは強氣も強氣、正にヨ一言はんワ——。

☆日本大學水泳部の至寶、天野富勝君、今冬比律賓に元氣で遠征歸朝後、盲腸炎にかゝり、いよいよ手術をする事

になり手術臺上の人となる、手術始まるや、天野君叫ぶ「あ、痛い——イ 助けてくれ——エ」一同呆然たる中に醫者靜かに曰く「助けてるではないか」之正に然り?ヨ——言はんワ。

☆去る水聯の或會合の席で、議事議題も終り、やがて餘談に花が咲く、各學校を來春集立つ連中、早や就職談で持ちきり、此の中に帝國大學水泳部横尾清吾君曰く、「日本鑛業に就職を頼んでもらひたいんだが僕は成績があまり善くないからなア」そばで之を聞いて居た社會人として一年の長有る小池禮三君即座に之に答へて曰く「成績が悪いからこそ裏から頼むんじやないか」一同笑聲。

# クロール ..... 日本水上競技聯盟

**日本字名懸賞募集** (クロールを日本字にすれば何と云ふ字がよいか下記の規定により名案を募集します、どしどし応募して下さい。)

- (1) 漢字及び読み方を必ず附する事。(2) 成るべく〇〇泳を希望す。(3) 用紙官製葉書一枚一案。(4) 住所明記の事。(5) 〆切期日十二月卅日。(6) 候補名數個を定め一般投票により決定す。(7) 決定名提出者には薄謝を呈す

## 聯盟日誌

9月	4日	神宮體育大會打合會	事務所
	5日	競泳池公認委員會	事務所
	6日	飛込競技委員會	事務所
	7日	水球競技委員會	事務所
		標準泳法委員會	事務所
	8日	理事會	事務所
		關東學生水上競技大會第一日	神宮プール
	9日	學聯飛込委員會	事務所
		關東學生水上競技第二日	神宮プール
	10日	關東學生水上競技第三日	神宮プール
	12日	水球代表軍打合會	事務所
	14日	理事會	事務所
	15日	日本學生選手權水上競技大會	神宮プール
	16日	〃	神宮プール
	17日	〃	神宮プール
	20日	神宮大會準備會	事務所
	21日	學聯水球常任委員會	事務所
		明治神宮體育大會水上競技始ル	神宮プール
	22日	〃 第2日	神宮プール
	23日	學聯水球委員會	事務所
		明治神宮體育大會水上競技第3日	神宮プール
		秩父宮總裁宮殿下御台覽遊ばさる	幸樂
	24日	明治神宮體育大會水上競技第四日	神宮プール
		オリピック対策理事會	幸樂
	27日	常務理事會	事務所
	29日	關東學生水球リーグ戦	神宮プール
	30日	〃	神宮プール
10月	1日	〃	神宮プール
	3日	日本代表軍銓衡打合會	幸樂
	6日	日本代表軍銓衡委員會	中央亭
	7日	學聯飛込委員會	幸樂
	9日	小學校委員會	事務所
	10日	常務理事會	事務所
	11日	外務省トノ懇談會	事務所
	13日	指導普及委員會	事務所
	14日	飛込競技委員會	事務所
	16日	小學校ベストテン	事務所
	18日	記録委員會	事務所
	19日	慰安陸上運動會打合會	事務所
	23日	記録委員會	事務所
	26日	理事會	事務所
	31日	慰安陸上運動會打合會	事務所

日本水上競技  
聯盟機關雜誌

水 泳

第 68 號

昭和十四年十一月十日納本  
昭和十四年十一月十三日發行

(日本水上競技聯盟代表)  
編輯兼印刷人 宍 道 洋 一

印刷所 大日本印刷株式會社  
牛込區市谷加賀町一の十二

定價30錢 年8回發行豫定・8回分 ¥2.40

豫約申込者に限り頒布す (1年前金豫約)  
は送料不要

廣告料 10圓乃至35圓 御申込次第詳細回答

發行並 東京市麴町區丸ビル581  
申込所 日本水上競技聯盟編輯事務所  
振替口座東京三九九一九番